

2018 年度

歯学部研究年報



明海大学

MEIKAI UNIVERSITY

目 次

	頁
形態機能成育学講座	
解剖学 分野	1
口腔解剖学 分野	4
生理学 分野	5
口腔小児科学 分野	7
歯科矯正学 分野	10
口腔生物再生医工学講座	
生化学 分野	14
微生物学 分野	16
歯周病学 分野	18
基礎生物学 分野	22
機能保存回復学講座	
歯科生体材料学 分野	23
歯科補綴学 分野(有床義歯)	26
歯科補綴学 分野(クラウン・ブリッジ)	28
保存治療学 分野	32
オーラル・リハビリテーション学 分野	35
摂食嚥下リハビリテーション学 分野	39
基礎物理学 分野	41
病態診断治療学講座	
病理学 分野	42
薬理学 分野	47
総合臨床歯科学 分野	49
歯科放射線学 分野	51
口腔顎顔面外科学 分野(第1分野)	55
口腔顎顔面外科学 分野(第2分野)	58
高齢者歯科学 分野	60
歯科麻酔学 分野	62
歯科法医学 分野	66
社会健康科学講座	
口腔衛生学 分野	69
スポーツ歯学 分野	72
障がい者歯科学 分野	73
医療情報科学 分野	74
基礎数学・統計学 分野	75
総合臨床医学講座	
内科学 分野	76
眼科学 分野	78
明海大学歯科医学総合研究所	
M-RIO (Meikai University Research Institute of Odontology)	79

形態機能成育学講座

解剖学分野

口腔解剖学分野

生理学分野

口腔小児科学分野

歯科矯正学分野

解剖学

A. 著書・訳本

2. 訳本

- 1) 天野 修, 他: 頭頸部. In: 坂井建雄, 河田光博監訳 プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖. 第3版, 医学書院, 東京, 2019. 3
- 2) 坂井建雄, 天野 修監訳 プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部. 第2版, 医学書院, 東京, 2018. 10
- 3) 天野 修: 1.頭頸部の発生. In: 前田健康監訳 ネットー頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス. 原著第3版, 医歯薬出版, 東京, 2018. 9

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Sakagami H, Sugimoto M, Kanda Y, Murakami Y, Amano O, Saitoh J, Kochi A: Changes in Metabolic Profiles of Human Oral Cells by Benzylidene Ascorbates and Eugenol. *Medicines (Basel)*, 5(4), pii: E116, 2018. 10
- 2) Takizawa S, Sakiyama K, Bando Y, Inoue K, Sakashita H, Ogasawara Y, Amano O, Sakashita H: Influence of high mobility group box 1 (HMGB1) derived from SCC7 cells on mouse normal tongue muscle fibers. *J Oral Maxillofac Surg*, 30(5), 466-474, 2018. 5
- 3) Hirouchi H, Kitamura K, Yamamoto M, Odaka K, Matsunaga S, Sakiyama K, Abe S: Developmental characteristics of secondary cartilage in the mandibular condyle and sphenoid bone in mice. *Arch Oral Biol*, 89, 84-92, 2018. 5
- 4) Shinoda T, Nagasaka A, Inoue Y, Higuchi R, Minami Y, Kato K, Suzuki M, Kondo T, Kawaue T, Saito K, Ueno N, Fukazawa Y, Nagayama M, Miura T, Adachi T and Miyata T: Elasticity-based boosting of neuroepithelial nucleokinesis via indirect energy transfer from mother to daughter. *PLoS Biol*, 16(4), e2004426, 2018. 4
- 5) Bando Y, Sakashita H, Taira F, Miyake G, Ogasawara Y, Sakiyama K, Owada Y, Amano O: Origin and development of septoclasts in endochondral ossification of mice. *Histochem Cell Biol*, 149(6), 645-654, 2018. 2

C. その他の刊行物など

- 1) 山本将仁, 大久保真衣, 大平真理子, 佐々木穂高, 佐藤正樹, 菅野亜紀, 長坂 新, 四ツ谷護, 阿部伸一: 「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」 5.咀嚼嚥下グループの研究内容と展望, *歯科学報*, 119(1), 1-9, 2019. 2

D. 学会発表

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 坂東康彦, 坂下 英, 崎山浩司, 徳田信子, 天野 修: 軟骨吸収細胞 septoclast における脂肪酸結合タンパクの発現と役割, 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 新潟市, 2019. 3

(3) 一般演題

- 1) 崎山浩司, 小笠原悠大, 坂東康彦, 三宅言輝, 天野 修: 再生した筋線維と High mobility group box1 (HMGB1)との関係, 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 新潟市, 2019. 3
- 2) 小笠原悠大, 崎山浩司, 三宅言輝, 坂東康彦, 天野 修: 舌癌における High mobility group box1 (HMGB1)の関与, 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 新潟市, 2019. 3
- 3) 三宅言輝, 平良芙蓉子, 坂東康彦, 崎山浩司, 井関尚一, 天野 修: 糖尿病ラット舌下腺におけるアディポネクチン受容体の発現変動, 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 新潟市, 2019. 3
- 4) 天野 修: メッケル著 Handbuch der menschlichen Anatomie (1815~1820)におけるメッケル軟骨の記載とその意義, 第 46 回日本歯科医史学会総会・学術大会, 東京, 2018. 10
- 5) 崎山浩司, 小笠原悠大, 三宅言輝, 坂東康彦, 天野 修: 筋線維壊死後に再生する筋線維と high mobility group box 1 の関係, 第 60 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2018. 9
- 6) 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: A-FABP を発現する E-FABP 陽性 septoclast と E-FABP 欠損の影響, 第 60 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2018. 9
- 7) 小笠原悠大, 崎山浩司, 坂東康彦, 三宅言輝, 天野 修: 舌癌周囲の筋再生に対する High mobility group box 1 (HMGB1)の関与, 第 60 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2018. 9
- 8) 三宅言輝, 平良芙蓉子, 小笠原悠大, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: I 型糖尿病および II 型糖尿病ラットにおける舌下腺アディポネクチンと受容体の変化, 第 60 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2018. 9
- 9) 坂東康彦, 崎山浩司, 徳田信子, 大和田祐二, 天野 修: FABP4 を発現する FABP5 陽性 septoclast と FABP5 欠損の影響, 第 42 回峠の会 形態学セミナー, 仙台, 2018. 7
- 10) 小笠原悠大, 崎山浩司, 三宅言輝, 坂東康彦, 天野 修: 舌癌治癒過程にみられる High mobility group box 1, 第 42 回峠の会 形態学セミナー, 仙台, 2018. 7

- 11) 三宅言輝, 小笠原悠大, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: 正常および糖尿病ラット舌下腺におけるアディポネクチンと受容体の局在, 第42回峠の会 形態学セミナー, 仙台, 2018. 7

E. その他の研究会、講演など

- 1) 崎山浩司: インプラント治療に必要な解剖学, 歯科医師生涯研修(インプラント ベーシックプログラム 10 日間コース), 浦安, 2018. 4

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 天野 修: 鰓弓軟骨の発生, 成長, 消失, 骨化における低酸素環境と脂肪酸による調節機構の解明 学術助成基金助成金 基盤研究(C) 17K11626
- 2) 坂東康彦: 単核軟骨吸収細胞 septoclast における脂肪酸・レチノイン酸代謝の意義 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) 16K11457

2. 宮田研究奨励金(A)

- 1) 崎山浩司: High mobility group box 1 (HMGB1) が筋組織へ与える影響

口腔解剖学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Chang SH, Mori D, Kobayashi H, Mori Y, Nakamoto H, Okada K, Taniguchi Y, Sugita S, Yano F, Chung UI, Kim-Kaneyama JR, Yanagita M, Economides A, Canalis E, Chen D, Tanaka S, Saito T. Excessive mechanical loading promotes osteoarthritis through the gremlin-1-NF-kB pathway. . Nat Commun. 2019 Mar 29;10(1):1442.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 羽毛田 慈之、沢村 達也、伊東 順太、小笠原 徹、岡安 麻里：炎症性骨疾患への LOX-1 の寄与とその分子機構の全容解明そして創薬へのアプローチ．科学研究費補助金 基盤研究(B)．研究実績報告書，2018, 4
- 2) 小笠原 徹、森 良之、緒方 直史、筑田 博隆、羽毛田 慈之、茂呂 徹、阿部 雅修、藤原 夕子：Cdk6 が制御する microRNA の探索による骨代謝機構の解明と再生医療への応用．科学研究費補助金 基盤研究(B)．研究実績報告書，2018, 4
- 3) 林田千代美、骨細胞由来の未知の破骨細胞形成抑制因子の同定とその作用機構の解明、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）成果報告書提出，若手研究(B), 2018, 4
- 4) 森芳史、Rho 修飾因子による関節軟骨基質形成の制御機構の解析、科学研究費助成事業 若手研究 B 2017 年度 実績報告書, 2018, 4

生理学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 村本和世, 単著: 歯科国試パーフェクトマスター: 生理学・口腔生理学. 医歯薬出版, 東京, 2018.12.

C. その他の刊行物など

- 1) 村本和世, 科研費最終報告書: 脂質の受容と脂質摂取調節における唾液リパーゼの役割, 文部科学省, 学術研究助成基金助成金 (挑戦的萌芽: 15K15043) 最終報告書, 2018.3.
- 2) 村本和世, ミニ総説: 美味しさを感じる脳機構 -味とニオイの統合機構解明を目指して-, *Journal of Aroma Science Technology and Safety (Aroma Research)*, 76 (19(4)), 356-357, 2018.11.
- 3) 村本和世, 巻頭言: 第 52 回大会を終えて思うこと, 味と匂学会誌, 25 (2), 61-62, 2018.12.
- 4) 村本和世, 味と匂学会第 52 回大宮大会のご報告, 味と匂学会誌, 25 (2), 63-67, 2018.12.
- 5) 栗原琴二, 科研費最終報告書: アミラーゼに替わる唾液マイクロ RNA を用いたストレスを数値化する診断法を探る, 文部科学省, 学術研究助成基金助成金 (挑戦的萌芽研究: 16K15192) 最終報告書, 2018.3.

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 小峰雄介, 溝口尚子, 坂下英明, 村本和世, フラビン蛋白蛍光イメージング法による味およびニオイ呈示に対する皮質応答の解析 (Visualization of odor- and taste-evoked cortical responses by in vivo imaging with flavoprotein autofluorescence), 第 95 回日本生理学会大会, サポートホール高松, 高松市 (香川県), 2018.3.
- 2) 小峰雄介, 溝口尚子, 坂下英明, 村本和世, 味とにおいの連合学習によるマウス島皮質神経活動の変化 (Changes of neural activity in mouse insular cortex by the associative learning of taste and odor), 日本味と匂学会第 52 回大会, ソニックシティ, さいたま市 (埼玉県), 2018.10.
- 3) Kinji Kurihara, MicroRNAs in mouse salivary glands as a putative Bio-Marker of stress-dependent diseases, The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (第 9 回アジア・オセアニア生理学会連合大会&第 96 回日本生

理学会合同大会)，神戸国際会議場，神戸市（兵庫県），2019.3.

E. その他の研究会、講演など

1) 村本和世，食における嗅覚（ニオイ）の役割と情報処理，新潟大学大学院医歯学総合研究科特別講演，新潟市（新潟県），2019.1.

2) 村本和世，味とニオイの相互作用：風味形成と風味情報の脳内表現，第6回ケモビ研究会 (Chemosensation and Behavior Workshop 2019)，三浦市（神奈川県），2019.3.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

1) 基盤研究 (C)：村本和世（代表），脳内相互作用によるフレーバー形成機構の解明（平成30年度~令和2年度：18K06877）

口腔小児科学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 小児歯科学第5版改訂版, 医歯薬出版, pp. 338-349

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Kondo Y, Sato K, Nagano K, Nishiguchi M, Hoshino T, Fujiwara T, Nakayama K. Involvement of PorK, a component of the type IX secretion system, in *Prevotella melaninogenica* pathogenicity. *Microbiol Immunol.* 2018;62(9):554-566.
- 2) Nakamura S, Shioya K, Hiraoka BY, Suzuki N, Hoshino T, Fujiwara T, Yoshinari N, Ansai T, Yoshida A. *Porphyromonas gingivalis* hydrogen sulfide enhances methyl mercaptan-induced pathogenicity in mouse abscess formation. *Microbiology.* 2018;164(4):529-539.
- 3) Takano C, Seki M, Kim DW, Gardner H, McLaughlin RE, Kilgore PE, Kumasaka K, Hayakawa S, Development of a novel loop-mediated isothermal amplification method to detect Guiana extended-spectrum (GES) β -lactamase genes in *Pseudomonas aeruginosa*. *Frontiers in Microbiology* 10, 00025, 2019, 2

C. その他の刊行物など

- 1) 駒澤大悟, 子どもの歯(第10回) 中学生以降の矯正歯科治療, チャイルドヘルス, 21巻4号, Page299-301, 2018, 4
- 2) 関みつ子, 特別講義・健康講座概要, 歯周病及び歯の健康と認知症予防, 晁桜(桜蔭学園同窓会晁桜会会報), 62巻2号, Page 11, 2019, 3

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 駒澤大悟, 黒下礼奈, 沖殿ちひろ, 常岡柚希, 星野倫範, 異なる固定法および骨切り術の併用における前方牽引時の変異解析 デジタル画像相関法, 第56回日本小児歯科学会大会. 大阪市, 2018, 4
- 2) 池田英史, 大橋英夫, 江田康輔, 棚瀬康介, 駒澤大悟, 荻原 孝, 女ヶ沢美貴, 星野倫範, 小児歯科診療室での歯科用レーザーの安全管理, 第56回日本小児歯科学会大会, 大阪, 2018, 5
- 3) 吉田美香子: 外傷による脱落歯再植の予後の1例, 第36回日本顎咬合学会学術大

会・総会, 東京, 2018, 6

- 4) 中村昭博, 池田英史, 荻原 孝, 吉田美香子, 星野倫範, 明海大学病院小児歯科における過剰歯の臨床統計学的検討, 第 30 回一般社団法人日本小児口腔外科学会学術大会, 埼玉, 2018, 11
- 5) 吉田美香子, 江田康輔, 高本千聖, 金子直子, 渡辺幸嗣, 鈴木 昭, 星野倫範: 当科における全身麻酔下での歯科治療の実態調査, 第 35 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 東京, 2018, 11

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 江田康輔, 小口寛子, 吉田美香子, 大畑直子, 中村昭博, 星野倫範: 水平埋伏した上顎中切歯を開窓のみで萌出誘導した 1 例, 日本小児歯科学会関東地方会第 33 回大会, 栃木, 2018, 10

E. その他の研究会、講演など

- 1) 駒澤大悟, 低ホスファターゼ症 (HPP; Hypophosphatasia) と歯科症状, 小児・医科・歯科連携講演会, 東松山, 埼玉, 2019, 1
- 2) 吉田美香子: 子どもを泣かせないポイント, 平成 30 年度北陸ブロック大会, 金沢, 2018, 8
- 3) 星野倫範, 小児の摂食機能の発達とその障害, 埼玉県歯科衛生士会, さいたま, 埼玉, 2018, 6
- 4) 星野倫範, こどもの歯科治療で困っていませんか? - 応急処置から全身麻酔下歯科治療まで -, 彩の国大学コンソーシアム, 川越, 埼玉, 2018, 9
- 5) 関みつ子, 歯周病及び歯の健康と認知症予防, 桜蔭学園同窓会晁桜会特別講義, 桜蔭別館・晁桜会室, 東京, 2018, 10
- 6) 星野倫範, 小児歯科・口腔外科それぞれの立場から、子どもの歯科治療・口腔外科処置をどうするか?, 日本小児口腔外科学会主催第 5 回認定医・指導医の申請・更新のための教育講演会, 川越, 埼玉, 2018, 11
- 7) 笹野まり, 関みつ子, 高野智圭, 早川智, LAMP 法による β -lactamase 遺伝子 (OXA-48) 検出, 第 47 回薬剤耐性菌研究会, 松本, 2018, 11
- 8) 星野倫範, 小児における摂食機能の発達とその障害により生じること, 所沢市歯科医師会, 所沢, 埼玉, 2018, 12
- 9) 関みつ子, こどものむし歯～予防と治療～, 鳩山町保健センター, 鳩山町, 2019, 2

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 星野 倫範（研究代表者，基盤研究(C)），*P. melaninogenica* の誤嚥性肺炎病原因子の同定と病態発症機序の解明（研究期間 2016 - 2018）
- 2) 星野 倫範（研究分担者，基盤研究(C)），早期発症型小児齲蝕罹患小児における口腔内細菌叢の解析と新しい疾患予防法について（研究期間 2018 - 2020）

歯科矯正学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 田草川徹, 川口祥子, 小林真彦, 園川拓哉, Kitano Flores Victor Jose, 吉川秀明, 田村暢章, 龍田恒康, 川尻朱美, 大塚雄一郎, 真野樹子, 須田直人, 竹島浩, 嶋田淳. 中頭蓋窩くも膜嚢胞を有する顎変形症患者の周術期管理に関する検討(Perioperative Management of a Patient with Middle Cranial Fossa Arachnoid Cysts). 明海歯科医学, 47(1):105-111, 2018.2
- 2) 長谷川紘也, 真野樹子, 品川令, 藤本舞, 須田直人. 術前顎矯正における光学印象の試み(第二報)-裂隙形態の影響-. 日本口蓋裂学会雑誌, 43(1):12-19, 2018.4
- 3) 品川令, 藤本舞, 長谷川紘也, 土屋隆子, 土肥洋介, ダシドンドグオトゴントヤ, 豊田亜希子, 真野樹子, 須田直人. 明海大学病院における口唇裂・口蓋裂患者の過剰歯に関する臨床統計調査. 日本口蓋裂学会雑誌, 43(1):20-25, 2018.4
- 4) Mano M, Ishiwata Y, Asahito T, Sakamo T, Morishita T, Yamamoto Oonishi Y, Iwata T, Suda N, Susami T, Saito I. Orthodontic Waves, 177(2):101-110, 2018.6
- 5) Sakagami H, Watanabe T, Hoshino T, Suda N, Mori K, Yasui T, Yamauchi N, Kashiwagi H, Gomi T, Oizumi T, Nagai J, Uesawa Y, Takao K, Sugita Y. Recent Progress of Basic Studies of Natural Products and Their Dental Application. Medicines (Basel), 6(1):4, 2018.12
- 6) Dashdondog Otgontuya, Ganburged Ganjargal, 須田直人. モンゴル人の顔面非対称女性症例の特徴. 明海歯科医学, 48(1):8-16, 2019.2

3. 症例報告

- 1) 加藤悠歩, 藤本舞, 真野樹子, 須田直人. 交通外傷受傷後に矯正歯科治療を含む包括的治療を行った1例. 明海歯科医学, 47(2):148-156, 2018.9

D. 学会発表

1. 国際学会

(1) 特別講演(教育講演)

- 1) Suda N. Orthodontic treatment for traumatic cases. 6th Meeting of Mongolian Association of Orthodontists, 1-2 September 2018, Ulaanbaatar, Mongol.

(3) 一般演題

- 1) Dohi Y, Otsuka Y, Inose M, Arikawa S, Suda N. A Novel Approach for Measurement

of Elastic Modulus of Trabecular Bone in Mandible. 41th solid mechanics conference, 27-31 August 2018, Warsoew, Poland.

- 2) Tsuchiya T, Sasaki A, Yugawa M, Hasegawa N, Suda N, Adachi M. Pain control by two types of dental laser irradiation using an animal pain model induced by experimental tooth movement. 48th Annual Meeting of The Society for Neuroscience, 3-7 November 2018, San Diego, CA, USA.

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 大塚雄一郎. 3D 画像技術の展望：3D シミュレーションの実践と評価. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2018 年 6 月 14-15 日, 大阪
- 2) 須田直人. マルファン症候群の早期発見と矯正歯科 知っておきたい先天異常の特徴. 第77回日本矯正歯科学会学術大会, 2018年10月30日-11月1日, 横浜

(3) 一般演題

- 1) 真野樹子, 時岡一幸, 長谷川紘也, 藤本舞, 品川令, 須田直人. 歯肉骨膜形成術 (GPP) 施行例と非施行例における顎発育の短期成績の比較. 第 42 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2018 年 5 月 24-25 日, 大阪
- 2) 藤本舞, 真野樹子, 時岡一幸, 品川令, 長谷川紘也, 奥結香, 坂下英明, 須田直人. 術前顎矯正による上顎歯槽形態の改善に関与する因子の検討. 第 42 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2018 年 5 月 24-25 日, 大阪
- 3) 豊田亜希子, 品川令, 時岡一幸, 須田直人. 早期顎裂閉鎖の成績向上を目的としたヒト臍帯由来間葉系幹細胞を用いた歯槽再生. 第 42 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2018 年 5 月 24-25 日, 大阪
- 4) 長谷川紘也. エピソーマルベクターを用いた局所発現遺伝子導入法の確立. 明海歯科医学会第 35 回学術大会, 2018 年 6 月 7 日, 坂戸
- 5) 大塚雄一郎, 豊田亜希子, 東金由莉, 田草川徹, 虻川東嗣, 嶋田淳, 須田直人. SARPE を施行した 4 例における骨延長部の骨形成. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2018 年 6 月 14-15 日, 大阪
- 6) 東金由莉, 佐々木会, 大塚雄一郎, 上里忠成, 川尻朱美, 浅香幸子, 田草川徹, 小澤智宣, 高橋伸年, 嶋田淳, 須田直人. Short lingual osteotomy 施行例における下顎枝と内側翼突筋の三次元術前評価. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2018 年 6 月 14-15 日, 大阪
- 7) 間崎誠, 虻川東嗣, 田草川徹, 園川拓哉, 大塚雄一郎, 須田直人, 嶋田淳. 顔面非対称をともなった上顎歯列弓狭窄症例に対する 2-stage surgery の評価. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2018 年 6 月 14-15 日, 大阪

- 8) 園川拓哉, 虻川東嗣, 間崎誠, 田草川徹, 大塚雄一郎, 須田直人, 嶋田淳.
上顎片側大白歯欠損を伴う顔面非対称症例における下顎骨 cant 調整機能付きハイブリットスプリントの応用. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2018 年 6 月 14-15 日, 大阪
- 9) 箕田碧, 大塚雄一郎, 須田直人. 医科用 CT を用いた 咬筋と内側翼突筋の三次元画像の構築. 第 77 回東京矯正歯科学会大会, 2018 年 7 月 12 日, 東京
- 10) 土肥洋介, 大塚雄一郎, 猪瀬将司, 有川秀一, 須田直人. 線形複合則を用いた下顎骨の海綿骨における弾性率測定. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会, 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日, 横浜
- 11) 大塚雄一郎, 箕田碧, 東金由莉, 加藤悠歩, 須田直人. 内側翼突筋の付着と走行に関する情報を加えた顎矯正手術の 3D シミュレーション. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会, 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日, 横浜
- 12) 豊田亜希子, 品川令, 時岡一幸, 須田直人. ヒト臍帯由来間葉系幹細胞を用いた早期顎裂閉鎖の効率化を目指した基礎研究. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会, 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日, 横浜
- 13) 土屋隆子, 湯川未郷, 長谷川尚哉, 安達一典, 須田直人. 実験的歯の移動に伴う疼痛に対する CO₂ レーザーと半導体レーザーの照射効果. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会, 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日, 横浜
- 14) ダシドンドグオトゴントヤ, ガンブルゲドガンジャルゲル, 須田直人. モンゴル人顔面非対称における歯の欠如とカリエス罹患. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会, 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日, 横浜
- 15) 佐々木会, 藤本舞, 須田直人. 移植床の 3 次元シミュレーション後に歯の移植を行った 1 例. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会, 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日, 横浜
- 16) 藤本舞, 佐々木会, 大貫那未, 須田直人. 歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正治療により顎矯正手術を回避した dual bite の骨格性下顎後退症例. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会, 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日, 横浜
- 17) 真野樹子, 土屋隆子, 須田直人. 上顎前歯の唇側傾斜を特徴とする多発性内分泌腫瘍症 IIb 型 (MEN2) の 1 例. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会, 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日, 横浜
- 18) 川尻朱美, 佐々木会, 上里忠成, 東金由莉, 浅香幸子, 山口浩司, 須田直人. 骨格性下顎前突症例における頭蓋冠形態と下顎窩の位置の三次元解析. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会, 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日, 横浜
- 19) 平良芙蓉子, 奥結香, 重松久夫, 真野樹子, 須田直人, 坂下英明. 顎裂部に歯胚を含む腫瘍を認めた 3 症例. 第 30 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 2018 年 11 月 23-24 日, 川越

- 20) 土屋隆子, 湯川未郷, 長谷川尚哉, 須田直人, 安達一典. 矯正治療に伴う疼痛に対する2種の歯科用レーザーによる鎮痛効果の比較-第3報-. 第12回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 2018年12月8-9日, 勝浦

E. その他の研究会、講演など

- 1) Suda N. Non-extraction treatment. Seminar for residents in Orthodontics Department of Mongolian National University of Medical Sciences, 31 August 2018, Ulaanbaatar, Mongol.
- 2) Suda N. Difficulty in treatment. Seminar for Residents in Orthodontics Department of Mongolian National University of Medical Sciences, 31 August 2018, Ulaanbaatar, Mongol.
- 3) 須田直人. 歯並びの重要性. 白菊会講演会, 2018年10月6日, 埼玉
- 4) 須田直人. 歯根膜と骨代謝と咬合. Dentistry, Quo Vadis?, 2018年12月9日, 東京

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 長谷川 紘也: 科学研究費 若手研究(B) (16K21326) 破骨細胞の分化と成熟化シグナルのクロストークを探る, 2016年4月~2019年3月, 総額4,160千円
- 2) 須田直人: 科学研究費 基盤研究(C) (18K09843) 矯正治療による歯の移動時の疼痛に対する末梢と中枢からのアプローチ, 2018年4月~2021年3月, 総額4,420千円

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 豊田亜希子: 宮田研究奨励金 (E) 早期顎裂閉鎖の成績向上を目的としたヒト臍帯由来間葉系幹細胞を用いた歯槽再生, 2018年4~2019年3月, 総額360千円

口腔生物再生医工学講座

生 化 学 分 野

微 生 物 学 分 野

歯 周 病 学 分 野

基 礎 生 物 学 分 野

生化学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Shi H, Nagai J, Sakatsume T, Bandow K, Okudaira N, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Uesawa Y, Takao K and Sugita Y: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 2-(*N*-cyclicamino)chromone derivatives. *Anticancer Res* 38(7): 3897-3906, 2018,7
- 2) Sakagami H, Shi H, Bandow K, Tomomura M, Tomomura A, Horiuchi M, Fujisawa T and Oizumi T: Search of neuroprotective polyphenols using the “overlay” isolation method. *Molecules* 2018, 23(8), 1840; doi:10.3390/molecules23081840, 2018,7
- 3) Shi H, Nagai J, Sakatsume T, Bandow K, Okudaira N, Uesawa Y, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Takao K and Sugita Y: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 3-(*N*-cyclicamino)chromone derivatives. *Anticancer Res* 38(8): 4459-4467, 2018,8
- 4) Nagai J, Shi H, Kubota Y, Bandow K, Okudaira N, Uesawa Y, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Takao K and Sugita Y: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of pyrano[4,3-*b*]chromones. *Anticancer Res* 38(8): 4449-4457, 2018,8
- 5) 川口祥子, 坂東健二郎, 田村暢章, 友村美根子, 嶋田淳, 友村明人: L P S 誘導性破骨細胞分化に対するカルデクリンの効果 明海歯科医学 47(2):126-138. 2018.9
- 6) Suzuki R, Fukami S, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y: Screening for natural medicines effective for the treatment of osteoporosis. *J Nat Med* 73(1): 331-337. 2019.1

C. その他の刊行物など

- 1) 坂上宏, 友村美根子, 増田宜子, 岩間聡一, 中川美香, 鈴木隼人, 田中健大, 阿部智之, 田村暢章, 竹島浩, 安井利一, 辻まゆみ, 木内祐二, 小口勝司, 堀内美咲, 藤澤知弘, 勝呂まどか, 大泉浩史, 大泉高明: ササヘルスによるホルメシスおよび細胞保護効果の誘導. *New Food Industry* 60 (4): 39-48, 2018,4,
- 2) 友村美根子: グラニルゲラニオールと骨代謝 別冊 BIO Clinica 慢性炎症と疾患 7 (2) (整形外科疾患と慢性炎症) 北隆館, 2018,5

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) Tomomura M, Tomomura A, Kamiguchi H: Serum Calcium-Decreasing Factor,

Caldecrin, Protects Against Amyloid- β Toxicity Through Proteolytic Cleavage. 第 41 回
日本神経科学, 神戸, 2018,7

- 2) 坂上宏, Haixia Shi, 坂東健二郎, 友村美根子, 友村明人: ヒト口腔扁平上皮癌に
対する高い選択性と, 低いケラチノサイト毒性を有する新規クロモン誘導体の
創製,第 60 回歯科基礎医学会学術大会, 九州大学,2018,9

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 植沢芳広, 史海霞, 永井純子, 坂詰つかさ, 坂東健二郎, 坂上宏, 友村美根子,
友村明人, 高尾 浩一, 杉田義昭: 2-(N-cyclicamino)chromone 誘導体の定量的構造
- 細胞傷害性相関解析,第 139 回日本薬理学会関東部会, 東京慈恵会医科大学,
東京,2018,1
- 2) 坂上宏, 史 海霞, 永井純子, 坂詰つかさ, 坂東健二郎, 奥平 准之, 植沢芳広,
友村美根子, 友村明人, 高尾浩一, 杉田義昭: 3-(N-サイクリックアミノ)クロモン
誘導体の定量的構造- 細胞傷害性相関解析,第 139 回日本薬理学会関東部会, 東京
慈恵会医科大学, 東京,2018,10
- 3) 堀内美咲, 史海霞, 坂上宏, 坂東健二郎, 友村美根子, 友村明人, 藤澤知弘,
勝呂まどか, 大泉浩史, 大泉高明: 分化した神経細胞の簡易調製法 (オーバー
レイ法) の開発: ポリフェノール類の神経保護作用とホルメシス効果,第139回
日本薬理学会関東部会, 東京慈恵会医科大学, 東京,2018,10

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 友村美根子 (代表): 基盤研究(C) (16K11487): 骨吸収と骨形成を相反的に制御
するグラニルゲラニオール作用の作用解明と骨粗鬆症への応用, 2016,4~2019,3

微生物学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 大森喜弘、天野滋、廣井美紀、山口花, 2018 年度 感染免疫制御学 実習 (第 3 版), DTP 出版, 東京, 2018, 6

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Yamaguchi, H., Hiroi, M. and Ohmori, Y.: Silencing of the interferon-inducible gene *Ifi204/p204* induces resistance to interferon- γ -mediated cell growth arrest of tumor cells, *Cytokine*, 118, 80-92, 2018.
- 2) Iguchi, M., Hiroi, M., Kanegae, H., and Ohmori, Y.: Costimulation of murine osteoblasts with interferon- γ and tumor necrosis factor- α induces apoptosis through downregulation of Bcl-2 and release of cytochrome c from mitochondria. *Mediators of Inflammation*, 2018, Article ID 3979606, 2018.

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 森 一将、松本安吏、廣井美紀、大森喜弘、嶋田 淳: 口腔内疼痛と *Candida albicans* との関連性についての臨床的検討, 第 60 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2018, 9.

E. その他の研究会、講演など

- 1) 廣井美紀: M2 マクロファージの分化誘導における低酸素誘導性転写因子 Hypoxia inducible factor-1 の関与, 第 35 回明海歯科医学会学術大会, 坂戸, 2018, 5 月.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 山口花 (研究代表者): 若手研究 B, マウス舌癌モデルにおける癌免疫編集機構によるインターフェロン耐性獲得機構.
- 2) 廣井美紀 (研究分担者): 基盤研究 C, 口腔扁平上皮癌における腫瘍関連マクロファージの誘導機構ならびに機能解析.
- 3) 大森喜弘 (研究分担者): 基盤研究 C, 脂肪酸合成を標的とした口腔癌の増殖・進展メカニズムの解析

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 廣井美紀: 宮田研究奨励金(A), M2 マクロファージの分化誘導における低酸素誘導性転写因子 Hypoxia inducible factor-1 の関与

歯周病学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) Pirih FQ, Galvan M and Ishii M, Newman and Carranza's Clinical Periodontology, 13th Edition: Introduction to Peri-Implant Health, Mucositis and Peri-Implantitis (Video), Elsevier Health Sciences, 2018. 7
- 2) 申 基喆/編, 辰巳順一, 林 丈一朗, 谷田部一大、大塚秀春, 石井麻紀子, 鈴木允文, 林 鋼兵/著, 歯周病診断と治療マニュアル 第4版, 美和野印刷, 東京, 2018. 10
- 3) 林 丈一朗, 申 基喆, インプラント治療, ザ・ペリオドントロジー 第3版, 永末書店, 194-199, 2019. 2
- 4) 特定非営利活動法人 日本歯周病学会編: 栗原英見, 高橋慶壮, 小方頼政, 臼井通彦, 大江丙午, 久保田健彦, 児玉利朗、佐藤秀一, 申 基喆, 辰巳順一, 田中真喜, 蓮池 聡, 間中総一郎, 長嶋秀和, 中山洋平, 高井英樹, 目澤 優, 大塚秀春, 鈴木允文, 林 鋼兵, 鈴木幹子, 上野大輔, 菊池 毅, 湯浅秀道, 歯周病患者における口腔インプラント治療指針およびエビデンス 2018, 医歯薬出版, 東京, 2019. 3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 安井絢子, 辰巳順一, 上田準也, 吉川佳織, 岩田卓也, 林 鋼兵, 鈴木允文, 石井麻紀子, 大塚秀春, 林 丈一朗, 申 基喆, フィクスチャー - アバットメント接合部封鎖性に及ぼす水平荷重負荷の影響, 明海歯学, 47(2), 113-125, 2018. 9

D. 学会発表

1. 国際学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Kitetsu Shin, Application of Enamel Matrix Derivative to Subepithelial Connective Tissue Graft for Improve Gingival Recession. American Academy of Periodontology 104th Annual meeting, Vancouver, 2018. 10

(2) 一般演題

- 1) Joichiro Hayashi, Kaori Yoshikawa, Junya Ueda, Kohei Hayashi, Takafumi Suzuki, Kitetsu Shin, Implant site development by orthodontic extrusion and buccal root torque at a site exhibiting severe gingival recession with periodontitis: a case report, 9th Congress of the European Federation of Periodontology, 2018. 6

- 2) Yoshimasa Taketani, Takafumi Suzuki, Joichiro Hayashi, Kohei Hayashi, Makiko Ishii, Hideharu Otsuka, Junichi Tatsumi, Yoshiyuki Hakeda, Kitetsu Shin, Involvement of TRPV4 in bone remodeling by mechanical stress with periodontitis, American Academy of Periodontology 104th Annual meeting, Vancouver, 2018.10
- 3) Ishii M, Hiyari S, Lari S, Galvan M, Shin K, Tetradis S, Camargo PM, Lee M and Pirih FQ, Local Delivery of CXCR3 Antagonist Decreases The Progression of Periodontitis, UCLA Research Day 2019, Los Angeles, USA, 2019.2

2. 全国学会

(1) 特別講演（教育講演）

- 1) 申 基喆, 天然歯とインプラント周囲における審美的ソフトティッシュ・マネジメント, 日本歯科審美学会第 29 回学術大会, 川越市, 2018.9
- 2) 申 基喆, 歯周形成手術の State of the Art, 基調講演, 歯周形成手術の変遷, 第 8 回日本国際歯科大会, 横浜市, 2018.10

(2) 一般演題

- 1) 夏堀壮一郎, 大塚秀春, 林 丈一朗, 上田隼也, 吉川佳織, 竹谷佳将, 小玉治樹, 林 鋼兵, 鈴木允文, 辰巳順一, 申 基喆, 歯槽堤保存術における吸収性遮蔽膜を用いた Open Membrane Technique に関する基礎的検討, 第 61 回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2018.6
- 2) 渡辺和志, マウスフォームドタイプマウスガードにより咬合性外傷を生じた思春期性歯肉炎の一例 第 29 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 仙台, 2018.6
- 3) 小玉治樹, 歯周病患者におけるインプラント周囲疾患に関する臨床研究, 明海歯科医学会第 35 回学術大会, 坂戸市, 2018.6
- 4) 鈴木允文, 2 次性咬合性外傷における歯槽骨吸収の分子メカニズムに関する研究, 明海歯科医学会第 35 回学術大会, 坂戸市, 2018.6
- 5) 竹谷佳将, 歯周炎におけるメカニカルストレスを介した骨吸収に対する TRPV4 の役割, 明海歯科医学会第 35 回学術大会, 坂戸市, 2018.6
- 6) 鈴木允文, 小玉治樹, 竹ノ谷 淳, 杉山雄一郎, 脇田有貴, 夏堀壮一郎, 市村 光, 林 丈一朗, 申 基喆, 遊離歯肉移植術の術後疼痛と口腔関連 QOL の評価, 第 61 回秋季日本歯周病学会学術大会, 大阪市, 2018.10
- 7) 上田隼也, 辰巳順一, 安井絢子, 吉川佳織, 渡辺和志, 大塚秀春, 申 基喆, インプラント上部構造に対する繰り返し荷重負荷がインプラント-アバットメント接合部封鎖性に与える影響, 第 61 回秋季日本歯周病学会学術大会, 大阪市, 2018.10
- 8) 林 鋼兵, 久野貴史, 種子田恭子, 申 基喆, 薬物性歯肉増殖症を伴う重度慢性歯周炎に対し、歯周基本治療に抗菌光線力学療法 (a-PDT) を併用することにより

- 歯肉増殖が改善傾向を示した1症例,第61回秋季日本歯周病学会学術大会,大阪市, 2018.10
- 9) 夏堀壮一郎,歯槽堤保存術における創閉鎖の有無が治癒に与える影響,明海歯科医学学会第35回学術大会,坂戸市,2018.10
- 10) 久野貴史,大西英知,申基喆,トンネルテクニックを用いて根面被覆術を行った一症例,日本臨床歯周療法集談会第35回学術大会,2018.10
- 11) 竹ノ谷 淳,鈴木允文,小玉治樹,竹谷佳将,林 鋼兵,大塚秀春,林 丈一朗,申基喆,遊離歯肉移植術後の口腔関連QOLと疼痛の評価,平成30年度埼玉県歯科医学大会,さいたま市,2019.2
- 12) 久野貴史,大西英知,申基喆,トンネルテクニックを用いて根面被覆術を行った一症例,平成30年度埼玉県歯科医学大会,さいたま市,2019.2

E. その他の研究会、講演など

- 1) 林 丈一朗,歯周治療ベーシックシリーズ 歯周治療の診査・診断と治療計画(歯周治療I),明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部,新宿,2018.5
- 2) 林 丈一朗,歯周治療ベーシックシリーズ 歯周基本治療(歯周治療II),明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部,新宿,2018.5
- 3) 林 丈一朗,クリニカルステップアップセミナー 歯周治療におけるインスツルメンテーション,明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部,新宿,2018.6
- 4) 林 丈一朗,インプラント周囲のソフトティッシュマネジメントを考える,東京医科歯科大学インプラント同門会 第12回総会,2018.7
- 5) 林 丈一朗,相互に影響し合う歯周病と糖尿病,第26回埼玉糖尿病教育セミナー,さいたま市,2018.7
- 6) 申基喆,ペリオとインプラントのためのスーチャリングテクニック,誰も教えてくれなかった縫合理論と、役に立つ12種類の縫合,明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部 Master Clinician(高度専門的臨床教育)コース,新宿,2018.10
- 7) 辰巳順一,Version up! 歯周治療,明海大学歯学部同窓会四国ブロック大会・講演会,高知市,2018.11
- 8) 辰巳順一,Version up! 歯周治療,明海大学歯学部同窓会近畿ブロック大会・講演会,大阪市,2018.11
- 9) 辰巳順一,インプラント周囲炎:研究から見えてきたインプラント治療の課題,第25回JIADS総会・学術大会 シンポジウム,豊中市,2018.12
- 10) 申基喆,ペリオとインプラントのためのハードティッシュマネジメントー歯周病患者に対する確実に低侵襲な歯周、インプラントの骨増成,明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部 Master Clinician(高度専門的

臨床教育) コース、新宿, 2018. 11

- 1 1) 辰巳 順一, 歯周病治療をもう少し深く考えてみよう!!, 群馬県太田新田歯科医師会スキルアップセミナー, 太田市, 2018, 11
- 1 2) 林 丈一朗, 超高齢社会における歯周治療, 明海大学歯学部同窓会千葉県支部学術講演会, 千葉市, 2018. 11
- 1 3) 申 基喆, ペリオドンタルアドバンスセミナー (ペリオドンタル&ペリインプラント・プラスチックサージェリー) (ライブオペ), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部 Master Clinician (高度専門的臨床教育) コース、新宿, 2018. 12
- 1 4) 林 丈一朗, 100 歳人生からだの健康はお口から, 平成 30 年度 越生町健康長寿講座, 越生町, 2018. 12
- 1 5) 申 基喆, ペリオドンタルアドバンスセミナー (アドバンスド・ペリオドンタル・フラップサージェリー) (ライブオペ), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部 Master Clinician (高度専門的臨床教育) コース、新宿, 2019. 2
- 1 6) 申 基喆, 難症例への EMD の応用と中長期評価, インプラント歯周再生研究会主催 第 5 回沖縄セミナー, 那覇市, 2019. 2
- 1 7) 申 基喆, 「歯周・インプラント治療におけるモンダミンプロケア α の応用」, 第 2 回 アース・モンダミンセミナー、東京都, 2019. 3

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 研究代表者: 申 基喆 研究分担者: 辰巳順一、林 丈一朗、大塚秀春、鈴木允文、林 鋼兵, 歯周病患者に対するインプラント治療におけるインプラント周囲炎のリスク因子を探る, 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) H29-R2 年度, 2018. 4
- 2) 研究代表者: 大塚秀春 研究分担者: 申 基喆、辰巳順一、林 丈一朗、林 鋼兵、石井麻紀子, 低出力パルス超音波が歯周外科後の創傷治癒に与える効果, 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) H28-31 年度, 2018. 4

2. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

1) 宮田研究奨励金 A

研究代表者: 鈴木允文, 2 次性咬合性外傷における歯槽骨吸収の分子メカニズムに関する研究

基礎生物学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Kikuchi K, Fukunaga S, Ide F, Hoshino M, Inoue H, Miyazaki Y, Li TJ, Kusama K. Primary intestinal-type adenocarcinoma of the buccal mucosa: A case report and literature review. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol*, 2018, 5.

D. 学会発表

(3) 一般演題

- 1) 宮崎裕司、星野 都、金田朋久、井上ハルミ、菊池建太郎、草間 薫, 口腔癌発症におけるアセトアルデヒドの関与, 第 60 回 歯科基礎医学会学術大会・総会, 2018, 9.
- 2) 菊池建太郎, 福永秀一, 金田朋久, 井出文雄, 星野 都, 井上ハルミ, 宮崎裕司, 坂下英明, 草間 薫. 頬粘膜に生じた原発性腸型腺癌の一例. 第 29 回 日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 2018, 8.
- 3) 井上ハルミ, 金田朋久, 星野 都, 宮崎裕司, 菊池建太郎, 坂下英明, 草間 薫. 口腔癌における癌関連線維芽細胞 (CAF) の podoplanin 発現の意義. 第 29 回 日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 2018, 8.
- 4) 宮崎裕司. アセトアルデヒドが発癌・癌浸潤に及ぼす影響. 第 35 回 明海歯科医学会学術大会, 2018, 6.

F. 研究助成金等の受入れ

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 宮崎裕司. 口腔がん発症におけるアセトアルデヒドの関与. 宮田研究奨励金 (A) .

機能保存回復学講座

歯科生体材料学分野

歯科補綴学分野（有床義歯）

歯科補綴学分野（クラウンブリッジ）

保存治療学分野

オーラル・リハビリテーション学分野

摂食嚥下リハビリテーション学分野

基礎物理学分野

歯科生体材料学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 日比野 靖, 長沢悠子, 中畷 裕, 義歯用材料. In: スタンダード歯科理工学 第7版-生体材料と歯科材料-, 学建書院, 東京, pp. 273-306, 2019, 3
- 2) 日比野 靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 中畷 裕: **Introduction to Practical Dental Materials**, 学建書院, 2018 年

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 長沢悠子, 日比野 靖, 江田義和, 重田浩貴, 中畷 裕. CAD/CAM 用セラミックブロックのフッ化水素酸処理がセルフアドヒーシブレジンセメントのせん断接着強さに及ぼす影響. 日歯保存誌 62 (1), 17-26, 2019, 2
- 2) Yokose S, Klokkevold PR, Takei HH, Kadokura H, Kikui T, Hibino Y, Shigeta H, Nakajima H and Kawazu H. Effects of surface microtopography of titanium disks on cell proliferation and differentiation of osteoblast-like cells isolated from rat calvariae. Dent Mater J 37(2), 272-277, 2018, 4
- 3) Sorrentino R, Nagasawa Y, Inflelise M, Bonadeo G and Ferrari M. In vitro analysis of the fracture resistance of CAD/CAM monolithium disilicate molar crowns with different occlusal thickness. J Osseointegr 10(2), 50-56, 2018, 6
- 4) 江田義和, 長沢悠子, 重田浩貴, 松本篤樹, 鈴木玲爾, 日比野 靖, 中畷 裕. セルフアドヒーシブレジンセメントの吸水挙動の速度論的検討. 明海歯学 48 (1), 17-26, 2019, 2
- 5) 江田義和, 長沢悠子, 重田浩貴, 松本篤樹, 日比野 靖, 中畷 裕. 光照射がセルフアドヒーシブレジンセメントのせん断強さに及ぼす影響. 日歯理工誌 38 (1), 41-51, 2019, 1

C. その他の刊行物など

- 1) 八穴啓史, 板野守秀, 中畷 裕: SC7/WG8 フッ化物バーニッシュ. 第 54 回 ISO/TC106 ミラノ会議報告書, 84~85, 日本歯科材料器械研究協議会, 2018
- 2) 中畷 裕, 板野守秀, 川崎綾乃: TC106/SC7 オーラルケア用品総会. 第 54 回 ISO/TC106 ミラノ会議報告書, 89~94, 日本歯科材料器械研究協議会, 2018

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Shigeta H, Eda Y, Matsumoto S, Nagasawa Y, Hibino Y, and Nakajima H. Effect of coating on fluoride release of resin-modified glass ionomers. 96th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research 2018, 7
- 2) Hibino Y, Nagasawa Y, Shigeta H, Eda Y, Matsumoto S and Nakajima H. Flexural strength of resin composite for CAD/CAM crown after thermocycling. 96th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research 2018, 7
- 3) Matsumoto S, Shigeta H, Eda Y, Nagasawa Y, Hibino Y, and Nakajima H. Marginal fitting of cast crown fabricated from new shaking-mix stone. 96th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research. 2018, 7
- 4) Nagasawa Y, Hibino Y, Shigeta H, Eda Y, Matsumoto S and Nakajima H. Priming effect on shear bond strength of self-adhesive resin cement. 96th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research. 2018, 7
- 5) Eda Y, Shigeta H, Matsumoto S, Nagasawa Y, Hibino Y, and Nakajima H. Shear strength of self-adhesive resin cements after thermal cycling. 96th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research 2018, 7

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 長沢悠子, 日比野 靖, 重田浩貴, 江田義和, 松本篤樹, 和田賢一, 尾松 純, 中畷 裕. CAD/CAM 冠用セラミックと支台築造用コンポジットレジンのせん断接着強さ. 第 71 回日本歯科理工学会学術講演会 2018, 4
- 2) 長沢悠子, 日比野 靖, 重田浩貴, 江田義和, 松本篤樹, 尾松 純, 俵木 勉, 中畷 裕. CAD/CAM 冠用レジンプロックのフッ化水素酸処理がせん断接着強さに及ぼす影響. 第 72 回日本歯科理工学会学術講演会 2018, 10
- 3) 江田義和, 長沢悠子, 日比野 靖, 重田浩貴, 松本篤樹, 島野偉礎轄, 中畷 裕. セルフアドヒーシブレジンセメントのせん断強さに及ぼす吸水の影響. 第 72 回日本歯科理工学会学術講演会 2018, 10
- 4) 江田義和, 日比野 靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 松本篤樹, 栗田 智, 中畷 裕. セルフアドヒーシブレジンセメントのせん断強さの経時的変化. 第 71 回日本歯科理工学会学術講演会 2018, 4
- 5) 重田浩貴, 長沢悠子, 江田義和, 松本篤樹, 栗田 智, 尾松 純, 和田賢一, 日比野 靖, 中畷 裕. 混水比が振盪練和型硬質石膏の強さに及ぼす影響. 第 72 回日本歯科理工学会学術講演会 2018, 10

E. その他の研究会、講演など

- 1) 中 裕, 歯科材料研究と教育にたずさわって, 平成 30 年度日本歯科理工学会
関東地方会夏期セミナー, 2018, 8
- 2) 中 裕: 臼歯部審美補綴材料—材料科学の立場から考える—. 平成 30 年度埼玉
県歯科医学大会, さいたま市, 2019, 2

歯科補綴学(有床義歯)

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 上田脩司, 曾根峰世, 濱坂弘毅, 大川 穰, 染川正多, 松本大慶, 高橋 快, 鳴海史子, 松川高明, 岡本和彦, 大川周治, CAD/CAMにより製作したハイブリットレジン製根面板の適合性- スキャニング用ポストと μ CT の応用-, 日磁歯誌, 27, 28-34, 2018, 12
- 2) ” S. UEDA, M. SONE, H. HAMASAKA, Y. OKAWA, S. SOMEKAWA, D. MATSUMOTO, F. NARUMI, T. MATSUKAWA, K. OKAMOTO and S. OHKAWA” , A basic study on accuracy of a hybrid-resin coping fabricated by CAD/CAM system -Using scanning post and evaluation by μ CT-, JJ Mag Dent, 27, ppl-4, 2018, 12
- 3) 大川 穰, 松本大慶, 大川周治, 嗅覚刺激による睡眠時ブラキシズムの抑制, 顎機能誌 25, 2019, 3

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) ” F. NARUMI, Y. OKAWA, S. SOMEKAWA, S. UEDA, D. MATSUMOTO and S. OHKAWA” , Inhibitory Effect of Olfactory Stimuli on Sleep Bruxism, 42nd Annual Conference of The European Prosthodontic Association (Madrid) , 2018, 9
- 2) ” S. UEDA, SONE, H. HAMASAKA, Y. OKAWA, S. SOMEKAWA, D. MATSUMOTO, F. NARUMI, T. MATSUKAWA, K. OKAMOTO and S. OHKAWA” , Hybrid Resin Coping Fabricated with Using Scan Posts, 42nd Annual Conference of The European Prosthodontic Association (Madrid) , 2018, 9
- 3) ” M. SONE, M. HAMASAKA, F. NARUMI, T. MATSUKAWA, Y. OKAWA, S. SOMEKAWA, D. MATSUMOTO, K. TAKAHASHI, T. YOSHIDA, K. OKAMOTO, and S. OHKAWA” , A case report of a removable denture using magnetic attachments for a successful prognosis of abutment teeth, The 18th International Conference on Magnetic Applications in Dentistry, 2019, 2

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 大川周治, オーラルフレイルにおける咀嚼能力評価のあり方, 日本顎口腔機能学会第61回学術大会(東京) 2018, 9

(3) 一般演題

- 1) 染川正多, 大川 穰, 鳴海史子, 松川高明, 濱坂弘毅, 上田脩司, 松本大慶, 高橋 快, 曾根峰世, 岡本和彦, 岡根秀明, 大川周治, 4 基本味のスクリーニング検査法を応用した味覚機能評価の有用性, 平成 30 年度 (公社) 日本補綴歯科学会 第 127 回学術大会 (岡山), 2018, 6
- 2) 曾根峰世, 濱坂弘毅, 鳴海史子, 松川高明, 大川 穰, 染川正多, 磯貝佳史, 高橋 快, 岡本和彦, 大川周治, インプラント周囲軟組織に関する審美性の定量的評価, 平成 30 年度 (公社) 日本補綴歯科学会 第 127 回学術大会 (岡山), 2018, 6
- 3) 曾根峰世, 松本大慶, 濱坂弘毅, 鳴海史子, 松川高明, 大川 穰, 染川正多, 上田脩司, 高橋 快, 岡本和彦, 大川周治, 支台歯の予知性を考慮して磁性アタッチメントを用いた症例, 第 28 回 日本磁気歯科学会学術大会 (新潟), 2018, 11

3. 地方会

(2) シンポジウム

- 1) 岡本和彦, 歯を喪失 その時あなたの選択は, 平成 30 年度 (公社) 日本補綴歯科学会 東関東支部・西関東支部総会・合同学術大会 (千葉), 2018, 11

(3) 一般演題

- 1) 曾根峰世, 濱坂弘毅, 鳴海史子, 松川高明, 大川 穰, 染川正多, 磯貝佳史, 高橋 快, 岡本和彦, 大川周治, インプラント周囲軟組織に関する審美性の定量的評価, 平成 30 年度 (公社) 日本補綴歯科学会 東関東支部・西関東支部総会・合同学術大会 (千葉), 2018, 11
- 2) 染川正多, 松本大慶, 鳴海史子, 松川高明, 濱坂弘毅, 大川 穰, 高橋 快, 眞木信太郎, 曾根峰世, 岡本和彦, 大川周治, 4 基本味のスクリーニング検査法を応用した味覚機能評価について, 平成 30 年度 (公社) 日本補綴歯科学会 東関東支部・西関東支部総会・合同学術大会 (千葉), 2018, 11

歯科補綴学(クラウン・ブリッジ)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 三浦賞子, 江草 宏, CAD/CAM 冠の臨床 Update Part. 1 CAD/CAM 冠の臨床経過, 歯界展望 2018; 132(1): 28-35, 2018, 7
- 2) 三浦賞子, もう悩まない! 時代が求める接着臨床. 第4章リペア法, 3 セラミック, デンタルダイヤモンド増刊号: 126-129, 2018, 6
- 3) 藤澤政紀: 概論, 石神元ら編. 冠橋義歯補綴学テキスト第3版(永末書店)1-8, 2019. 2
- 4) 藤澤政紀: 口腔内情報の記録, 曾田雅啓ら編. 冠橋義歯補綴学テキスト第3版(永末書店) 162-166, 2019. 2

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Miura S, Kasahara S, Yamauchi S and Egusa H", Effect of finish line design on stress distribution in bilayer and monolithic zirconia crowns: a three-dimensional finite element analysis study., Eur J Oral Sci 126(2): 159-165, 2018, 4
- 2) "Miura S, Kasahara S, Yamauchi S, Katsuda Y, Harada A, Aida J and Egusa H", A possible risk of CAD/CAM-produced composite resin premolar crowns on removable partial denture abutment tooth: A 3-year retrospective cohort study., J Prosthodont Res 63(1): 78-84, 2019, 1
- 3) "Yamauchi S, Miura S, Kasahara S, Sun J, Egusa H", A thick frame decreases the fracture toughness of veneering ceramics used for zirconia-based all-ceramic restorations., J Prosthodont Res 63: 184-192, 2019
- 4) "Teshigawara D, Ino T, Otsuka H, Isogai T, Fujisawa M", Influence of elastic modulus mismatch between dentin and post-and-core on sequential bonding failure. J Prosthodont Res 63:227-231, 2019

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) "Miura S, Kasahara S, Yamauchi S and Egusa H", Abutment Tooth Form Predicts Loss of CAD/CAM-Produced Hybrid Resin Crowns., "97th International Association for Dental Research, London, United Kingdom", 2018, 7

- 2) "Saito K, Sato M, Otsuka H, Fujisawa M", Daytime Clenching Control Also Reduces Nighttime Grinding., "97th International Association for Dental Research, London, United Kingdom" 2018, 7

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 勅使河原大輔, "アドバンストセミナー (顎顔面補綴) 義歯, 顎顔面補綴における審美と QOL", 一般社団法人 日本歯科審美学会 第 29 回学術大会 アドバンストセミナー (顎顔面補綴), 2018, 9

(3) 一般演題

- 1) 佐藤雅介, 斉藤小夏, 大塚英稔, 橋戸広大, 三浦寛貴, 寺田信幸, 藤澤政紀, 覚醒時ブラキシズムに対する EMG バイオフィードバック訓練の咀嚼筋痛改善効果, 第 60 回日本顎口腔機能学会学術大会, 2018, 4
- 2) 磯貝知範, 勅使河原大輔, 猪野照夫, 橋戸広大, 前田拓郎, 磯貝知一, 藤澤政紀, 天然歯形態を再現した三次元有限要素モデルにおける支台築造歯の力学的検討, 日本補綴歯科学会 第 127 回学術大会, 2018, 6
- 2) 斉藤小夏, 佐藤雅介, 大塚英稔, 岩瀬直樹, 藤田崇史, 水口由希子, 藤澤政紀, 日中のバイオフィードバック訓練前後のブラキシズムおよび咀嚼筋痛の変化, 日本補綴歯科学会 第 127 回学術大会, 2018, 6
- 3) 三浦賞子, 笠原 紳, 山内しのぶ, 江草 宏, モノリシックジルコニアクラウン・ブリッジ治療の短期予後調査, 第 127 回日本補綴歯科学会学術大会, 2018, 6
- 4) 勅使河原大輔, 猪野照夫, 藤澤政紀, 下顎区域切除後に生じた嚥下困難に対しオーラルアプライアンスを装着した 1 例, 一般社団法人 日本顎顔面補綴学会 第 34 回総会・学術大会, 2018, 6
- 5) 佐藤雅介, 覚醒時ブラキシズムに対する EMG バイオフィードバック訓練が筋痛の症状改善効果に及ぼす影響, 明海歯科医学会第 35 回学術大会, 2018, 6
- 6) 斉藤小夏, 佐藤雅介, 島野偉礎轄, 藤澤政紀, バイオフィードバック訓練による夜間グライディングの抑制効果, 第 33 回 日本歯科心身医学会総会・学術大会, 2018, 7
- 7) 橋戸広大, 磯貝知範, 佐藤雅介, 勅使河原大輔, 斉藤小夏, 藤田崇史, 藤澤政紀, 光学印象による咬合面形態の再現性, 第 29 回日本歯科審美学会学術大会, 2018, 9
- 8) 三浦賞子, 笠原 紳, 3 次元デジタルデータを用いた小白歯 CAD/CAM 冠のクラウン厚さと脱離に関する検討, 第 29 回日本歯科審美学会学術大会, 2018, 9
- 9) 勅使河原大輔, 浅野悠, 榎木祐一郎, 去川俊二, 林直樹, 藤澤政紀, 口腔癌患者に

に対する地域医療連携における歯科補綴医の役割ー術前からの補綴的介入による顎骨再建患者への対応ー, 第 37 回日本口腔腫瘍学会 総会・学術大会, 2019, 1

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 三浦賞子, 歯科金属アレルギー患者に対してモノリシックジルコニア修復で補綴治療を行った一症例, 平成30年度日本補綴歯科学会東北・北海道支部学術大会, 2018, 10
- 2) 橋戸広大, 磯貝知範, 佐藤雅介, 水口由希子, 勅使河原大輔, 大塚英稔, 斉藤小夏, 藤田崇史, 前田拓郎, 浅見和哉, 塚田翔平, 吉沢亮平, 三浦賞子, 藤澤政紀, 光学印象によるCAD/CAMクラウンの歯冠形態再現性, 日本補綴歯科学会東関東支部・西関東支部合同学術大会, 2018, 11

E. その他の研究会、講演など

- 1) 藤澤政紀, 臨床実習で役に立つ咬合のとらええ方 愛知学院大学歯学会「学生のための講演会」, 2018, 5, 11 (名古屋)
- 2) 藤澤政紀, 咬合と下顎運動を臨臨床的観点から俯瞰する, 岩手医科大学 補綴・インプラント学講座 特別セミナー, 2018, 6, 4 (盛岡)
- 3) 藤澤政紀, 歯科材料の評価について-色調、有限要素解析、ブラキシズム評価- トクヤマセミナー 2018, 7, 31 (筑波)
- 4) 佐藤雅介, ブラキシズムに対するEMG バイオフィードバック訓練の効果について, トクヤマセミナー 2018, 7, 31 (筑波)
- 5) 勅使河原大輔, 支台築造歯に対する三次元有限要素法応力解析-ペナルティ解法を用いた非線形応力解析法について- トクヤマセミナー 2018, 7, 31 (筑波)
- 6) 橋戸広大, 光学印象による CAD/CAM クラウンの歯冠形態再現性, 明海歯科医学会 第 36 回学術大会, 第 214 回大学院歯学研究発表会, 2018, 10
- 7) 藤澤政紀, 咬合違和感への対応 -二回鑄造法から CAD/CAM へ-, 寛歩会学術講演会, 2018, 12, 2(盛岡)
- 8) 藤澤政紀, CAD/CAM クラウンの製作, ベーシック補綴臨床 2018 ハンズオンセミナー2 回コース, 2018, 12, 16 (盛岡)
- 9) 藤澤政紀, 歯科補綴に関わる心身医学, 歯科衛生士のための歯科心身医学入門, 2019, 1, 20 (東京)
- 10) 前田拓郎, 藤田崇史, 猪野照夫, 藤澤政紀, 歯科治療恐怖症患者に対し低侵襲で補綴処置を行った一症例, 平成 30 年度埼玉県歯科医学大会, 2019, 2
- 11) 水口由希子, 橋戸広大, 藤田崇史, 三浦賞子, 花崎浩, 井田慶子, 伊藤聡, 吉沢亮平, 藤澤政紀, ダブルスキャンテクニックを用いたジルコニアブリッジ症例,

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 藤澤政紀 (代表研究者), 佐藤雅介, 斉藤小夏, 田邊憲昌、小見山道、飯田崇、寺田信幸, 筋電図バイオフィードバック訓練による咀嚼筋痛患者の症状改善に関する多施設研究, 科学研究費助成事業 基盤 B
- 2) 三浦賞子 (研究代表者), モノリシックジルコニア修復の前向き臨床研究 ―長期予後を目指した形態・機能の追跡―, 科学研究費助成事業 基盤 C

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 佐藤雅介, 覚醒時ブラキシズムに対する EMG バイオフィードバック訓練が筋痛の症状改善効果に及ぼす影響, 2017 年度宮田研究奨励金【A】

保存治療学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 横瀬敏志, 門倉弘志, 市村 葉, 増田宣子, 小林健二, 山崎崇秀, 和田 恵, 上田堯之, 石岡和仁, 高橋淳哉, 大塚隼人, 宍戸健宏, 堀池将司, 吉川智也, 中込 恵, 加藤邑佳, 村山周平, 八百板隆徳, 井本瑞穂、阿部俊人: 保存修復学模型実習指針 2017年度, リュウワ印刷, 埼玉, 2018年9月
- 2) 横瀬敏志, 小林健二, 門倉弘志, 市村 葉, 増田宣子, 和田 恵, 山崎崇秀, 上田堯之, 加藤邑佳, 石岡和仁, 高橋淳哉, 吉川智也, 宍戸健宏, 堀池将司, 大塚隼人, 中込 恵, 村山周平, 八百板隆徳, 井本瑞穂、阿部俊人: 歯内療法学実習書, リュウワ印刷, 埼玉, 2018年11月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Yokose S, Klokkevold PR, Takei HH, Kadokura H, Kikui T, Hibino Y, Shigeta H, Nakajima H and Kawazu H : Effects of surface microtopography of titanium disks on cell proliferation and differentiation of osteoblast-like cells isolated from rat calvariae. *Dental Material Journal*. 37, 272-277, 2018
- 2) Masuda Y, Sakagami H, Horiike M, Kadokura H, Yamazaki T, Klokkevold RP, Takei HH and Yokose S : Photodynamic therapy with pyoktanin blue and diode laser for elimination of *Enterococcus Faecalis*. *In vivo* 32, 707-712, 2018
- 3) Masuda Y, Sakagami H, Horiike M, Kadokura H, Yamasaki T, Klokkevold PR, Takei HH and Yokose S : Photodynamic therapy with pyoktanin blue and diode laser for elimination of *enterococcus faecalis*. *In vivo* 32, 707-712, 2018
- 4) Sakagami H, Tsuji M, Tomomura M, Masuda Y, Iwama S, Nakagawa M, Suzuki H, Tanaka K, Abe T, Tamura n, Tomomura A, Tokose S, Takeshima H, Natori T, Horiuchi M, Fujisawa T, Kiuchi Y, Oguchi K, Yasui K, Oizumi H and OizumiT : Protection of differentiating neuronal cells from amyloid β peptide-induced injury by alkaline extract of leaves of *sasa senanensis rehder*. *In vivo* 32, 231-239, 2018
- 5) 日下洋平: ラット脛骨における S-PRG フィラー含有根管充填用シーラーの骨形成誘導能への影響. *明海歯学* 47, 139-147, 2018
- 6) 上田堯之: Diffusion Chamber を用いたラット歯髓培養細胞の Dentinogenesis の解析. *日歯保存誌* 61, 270-281, 2018
- 7) Kadokura H, Yamazaki T, Masuda Y, Kato Y, Hasegawa A, Sakagami H and Yokose S :

Establishment of a primary culture system of human periodontal ligament cells that differentiate into cementum protein 1-expressing cementoblast-like cells. In vivo 33, 349-352, 2019

2. 総説

- 1) 横瀬敏志, 山崎崇秀, 上田堯之, 門倉弘志, 増田宜子: 骨代謝におけるレーザーの作用 (総説). Osaka Academy of Oral Implantology 32, 7-13, 2018

D. 学会発表

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 横瀬敏志: 顎骨再生療法におけるレーザーの骨代謝に及ぼす作用について. 第39回レーザー医学会総会, 新宿, 2018年11月

(3) 一般演題

- 1) 増田宜子, 門倉弘志, 山崎崇秀, 上田堯之, 加藤邑佳, 横瀬敏志: *Enterococcus faecalis* に対するダイオードレーザーとピオクタニンブルーを用いた光線力学療法の抗菌性について. 第148回日本歯科保存学会春季学術大会, 横浜, 2018年6月
- 2) 加藤邑佳, 上田堯之, 矢野 結, 山崎崇秀, 門倉弘志, 増田宜子, 横瀬敏志: Oxytocin が培養歯髄細胞の dentinogenesis に及ぼす影響について. 第148回日本歯科保存学会, 横浜, 2018年6月
- 3) 増田宜子, 横瀬敏志: GSK3 アンタゴニスト(Tideglusib)による培養歯髄細胞の修復象牙質産生への影響の解明. 第35回明海歯科医学会学術大会, 埼玉, 2018年6月
- 4) 増田宜子, 門倉弘志, 山崎崇秀, 上田堯之, 加藤邑佳, 横瀬敏志: GSK-3 アンタゴニスト(Tideglusib)による培養歯髄細胞の修復象牙質産生への影響の解明. 第149回日本歯科保存学会秋季学術大会, 京都, 2018年11月
- 5) 増田宜子, 門倉弘志, 山崎崇秀, 横瀬敏志: クマザサ歯アルカリ抽出液(ササヘルス)とダイオードレーザーを用いた光線力学療法による根管洗浄について. 第30回日本レーザー歯学会学術大会, 東京, 2018年11月
- 6) 山崎 崇秀, 上田 堯之, 加藤 邑佳, 門倉 弘志, 横瀬 敏志: OVXラットにおけるオッセオインテグレーションに及ぼす半導体レーザー照射の影響. 第30回日本レーザー歯学会学術大会, 東京, 2018年11月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 小林健二, 日下洋平, 横瀬敏志: S-PRG フィラー含有根管充填用シーラーの骨形成誘導能に対する影響. 第4回生体機能性材料 S-PRG フィラー研究会, 京都,

2019年3月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 門倉弘志：Canonical Wnt 経路と歯髄創傷治癒. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 2016-2018
- 2) 小松(和田)恵：三次元的骨欠損形態評価システムの構築に基づく垂直性歯根破折の診断. 学術研究助成基金助成金 若手研究(B), 2016-2019
- 3) 横瀬敏志：骨細胞の機能を利用したレーザー刺激による顎骨再生医療の開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 2016-2018

オーラル・リハビリテーション学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Ozawa Masumi, Matsuda Satoru, Kusama Jun, Shimada Jun. A Study on the Accuracy of Adaptive Error Detection between Implant Body and Impression Coping Using Digital X-Ray. 日本口腔インプラント学会誌, 32 (1): 57-64, 2019.03
- 2) 中村裕子, 下島孝裕. MTAセメントおよしEMDを応用して意図的再植し、長期観察した一症例. 日本歯内療法学会雑誌, 39 (3) : 134-141, 2018.09
- 3) 江田義和, 長沢悠子, 重田浩貴, 松本篤樹, 鈴木玲爾, 日比野靖, 中嶋裕. セルフアドヒーシブセメントの吸水挙動の速度論的検討. 明海歯科医学, 48(1): 17-26, 2019.2
- 4) 江田義和, 長沢悠子, 重田浩貴, 松本篤樹, 日比野靖, 中嶋裕. 光照射がセルフアドヒーシブレジンセメントのせん断強さに及ぼす影響. 日本歯科理工学会誌, 38(1):41-51, 2019.1
- 5) 飯倉拓也, 松田哲, 大竹千尋, 草間淳, 飯塚奈々, 小澤万純, 河方知裕, 堀内康志, 齋藤大嵩, 長谷川陽子. 口唇移動術を用いてガミースマイルの改善が得られた症例の1年経過. 日本歯周病学会学会誌, 61 (1): 57-65, 2019.3

C. その他の刊行物など

- 1) 松田 哲. 私の趣味. 明海大学歯学部東京都同窓会会報, 49: 48-52, 2019.3
- 2) 松田 哲. 臨床家のためのデンタルスーチャリング-切開・縫合・結紮 1. デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND, 43(11): 72-77, 2018.8
- 3) 松田 哲. 臨床家のためのデンタルスーチャリング-切開・縫合・結紮 2 一, デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND, 43(12): 66-72, 2018.9
- 4) 松田 哲. 臨床家のためのデンタルスーチャリング-切開・縫合・結紮 3 一, デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND, 43(13): 66-71, 2018.10
- 5) 松田 哲. 臨床家のためのデンタルスーチャリング-切開・縫合・結紮 4 一, デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND, 43(15): 58-65, 2018.11
- 6) 松田 哲. 臨床家のためのデンタルスーチャリング-切開・縫合・結紮 5 一, デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND, 43(16): 70-78, 2018.12
- 7) 松田 哲. 臨床家のためのデンタルスーチャリング-切開・縫合・結紮 6 一, デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND, 44(1): 90-94, 2019.1
- 8) 松田 哲. 臨床家のためのデンタルスーチャリング-切開・縫合・結紮 7 一, デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND, 44(3):74-80, 2019.1

- 9) 松田 哲. 臨床家のためのデンタルスーチャリング-切開・縫合・結紮 8ー, デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND, 44(4):70-75, 2019. 2
- 10) 松田 哲. 臨床家のためのデンタルスーチャリング-切開・縫合・結紮 9ー, デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND, 44(5):74-79, 2019. 3

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) H. Shigeta, Y. Eda, S. Matsumoto, Y. Nagasawa, Y. Hibino and H. Nakajima. Effect of coating on fluoride release of resin-modified glass ionomers. 96th General Session & Exhibition of the IADR, Jul 2018, London, England.
- 2) Y. Hibino, Y. Nagasawa, H. Shigeta, Y. Eda, S. Matsumoto and H. Nakajima. Flexural strength of resin composites for CAD/CAM crown after thermocycling. 96th General Session & Exhibition of the IADR, Jul 2018, London, England.
- 3) S. Matsumoto, H. Shigeta, Y. Eda, Y. Nagasawa, Y. Hibino, R. Suzuki and H. Nakajima. Marginal fitting of cast crown fabricated from new shaking-mix stone. 96th General Session & Exhibition of the IADR, Jul 2018, London, England.
- 4) Y. Nagasawa, Y. Hibino, H. Shigeta, Y. Eda, S. Matsumoto and H. Nakajima. Priming effect on shear bond strength of self-adhesive resin cement. 96th General Session & Exhibition of the IADR, Jul 2018, London, England.
- 5) Y. Eda, H. Shigeta, S. Matsumoto, Y. Nagasawa, Y. Hibino and H. Nakajima. Shear strength of self-adhesive resin cements after thermal cycling. 96th General Session & Exhibition of the IADR, Jul 2018, London, England.

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 松田 哲. 臨床家のためのデンタルスーチャリング. 日本顎咬合学会 2018 年関東甲信越支部学術大会, 2018 年 11 月, 東京

(3) 一般演題

- 1) 長沢悠子, 日比野靖, 重田浩貴, 江田義和, 松本篤樹, 和田賢一, 尾松純, 中畠裕. CAD/CAM 冠用セラミックと支台築造用コンポジットレジンのせん断接着強さ. 第 71 回日本歯科理工学会学術講演会, 2018 年 4 月, 大阪
- 2) 長沢悠子, 日比野靖, 重田浩貴, 江田義和, 松本篤樹, 尾松純, 俵木勉, 中畠裕. CAD/CAM 冠用レジブロックのフッ化水素酸処理がせん断接着強さに及ぼす影響. 第 72 回日本歯科理工学会学術講演会, 2018 年 10 月, 札幌

- 3) 小澤万純, 堀内康志, 大竹千尋, 長谷川陽子, 松田 哲. インプラント表面性状がインプラント間骨頂部の高さに及ぼす影響. 日本顎咬合学会 第 36 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 2018 年 6 月, 東京
- 4) 齋藤大嵩, 河方知裕, 草間淳, 大竹千尋, 松田 哲. オフィスホワイトニングとデュアホワイトニングの比較. 日本顎咬合学会 第 36 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 2018 年 6 月, 東京
- 5) 江田義和, 長沢悠子, 日比野靖, 重田浩貴, 松本篤樹, 島野偉礎轄, 中畷裕. セルフアドヒーズブレジンセメントのせん断強さに及ぼす吸水の影響. 第 72 回日本歯科理工学会学術講演会, 2018 年 10 月, 札幌
- 6) 堀内康志, 飯倉拓也, 小澤万純, 飯塚奈々, 松田 哲. ホワイトニングに温度が及ぼす影響. 日本顎咬合学会 第 36 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 2018 年 6 月, 東京
- 7) 大竹千尋, 飯塚奈々, 齋藤大嵩, 小澤万純, 松田 哲. 欠損補綴にインプラントを用いた 1 例. 日本顎咬合学会 第 36 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 2018 年 6 月, 東京
- 8) 長谷川陽子, 大竹千尋, 飯塚奈々, 堀内康志, 松田 哲. 口臭における各種洗口剤の効果. 日本顎咬合学会 第 36 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 2018 年 6 月, 東京
- 9) 鏡智雄, 荒木久生, 川邊好弘, 溝部健一, 浅見健介. 広汎型慢性歯周炎患者に歯周外科治療で対応した一症例. 第 61 回春季日本歯周病学会学術大会, 2018 年 6 月,
- 1 0) 浅見健介, 川邊好弘, 溝部健一, 荒木久生. 広汎型慢性歯周炎患者に歯周外科治療で対応した一症例. 第 61 回秋季日本歯周病学会学術大会, 2018 年 10 月,
- 1 1) 谷本博則, 荒木久生, 溝部健一. 広汎型慢性歯周炎患者に対して歯周外科治療を行った一症例. 第 61 回秋季日本歯周病学会学術大会, 2018 年 10 月,
- 1 2) 宮崎啓, 荒木久生, 溝部健一. 広汎型慢性歯周炎患者に対し包括的治療を行った一症例. 第 61 回秋季日本歯周病学会学術大会, 2018 年 10 月,
- 1 3) 重田浩貴, 長沢悠子, 江田義和, 松本篤樹, 栗田智, 尾松純, 和田賢一, 日比野靖, 鈴木玲爾, 中畷裕. 混水比が振盪練和型硬質石膏の強さに及ぼす影響. 第 72 回日本歯科理工学会学術講演会, 2018 年 10 月, 札幌
- 1 4) 江田康輔, 小口寛子, 吉田美香子, 大畑直子, 中村昭博, 星野倫範. 水平埋伏した上顎中切歯を開窓のみで萌出誘導した 1 例. 日本小児歯科学会関東地方会 第 36 回北日本地方会・第 33 回関東地方会合同大会および平成 30 年度総会, 2018 年 10 月, 栃木
- 1 5) 飯塚奈々, 長谷川陽子, 河方知裕, 大竹千尋, 松田 哲. 唾液 pH に洗口剤が与える影響. 日本顎咬合学会 第 36 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 2018 年 6 月, 東京

- 1 6) 河方知裕, 小澤万純, 齋藤大嵩, 草間淳, 松田 哲. 当診療所におけるインプラント埋入患者の統計的分析 . 日本顎咬合学会 第 36 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 2018 年 6 月, 東京
- 1 7) 竹ノ谷 淳, 川邊好弘, 鈴木玲爾. 咬合性外傷を伴う慢性歯周炎に伴う慢性歯周炎に歯周組織再生療法を行った一症例 . 日本顎咬合学会 第 36 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 2018 年 6 月, 東京
- 1 8) 中村裕子, 小谷依子, 下島孝裕. Enamel Matrix Derivative および bFGF の歯髄・歯根膜細胞への影響. 第 39 回日本歯内療法学会・学術大会 (福岡), 2018, 7
- 1 9) 江田義和, 日比野靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 松本篤樹, 栗田智, 中畠裕, セルフアドヒーシブレジメンメントのせん断強さの経時的変化, 第 71 回日本歯科理工学会学術講演会. 大阪 (枚方) , 2018, 4

摂食嚥下・リハビリテーション学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) よくわかる高齢者歯科学 (共著). 永末書店, 2018.
- 2) 若手歯科医師のための海外留学指南 (共著). 一般財団法人口腔保健協会, 2018.

B. 学術論文

1. 原著

- 1) T Ando, A Masaki, Q Liu, T Ooka, S Sakurai, K Hirota, T Nojima: Squachu: A Training Game to Improve Oral Function via a Non-Contact Tongue-Mouth-Motion Detection System, AVI 2018.

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) T Ooka: Cooperation on dental treatment and approach for cleft-lip and palate in Meikai University Hospital. International Association of Pediatric Dentistry Summit, 2018.

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 勅使河原大輔, 猪野照夫, 大岡貴史, 藤澤政紀: 下顎区域切除後に生じた嚥下困難に対しオーラルアプライアンスを装着した1例. 顎顔面補綴学会, 2018.
- 2) 田村暢章, 松本勝, 竹下玲, 大岡貴史, 小林真彦, 北邦宏, 安井利一, 竹島浩, 西條光雅, 岡崎由佳, 野澤一郎太: 本学歯学部における口腔ケア実習(2017年度)に対するアンケート調査. 日本口腔ケア学会, 2018.
- 3) 高野梨沙, 大岡貴史, 竹下玲, 安井利一: 全身疾患と歯科診療に関する意識調査と口腔内の状態および歯科受療行動との関連. 日本口腔衛生学会, 2018.
- 4) 大岡貴史, 高野梨沙: 非接触舌・口腔運動認識システムを用いた口腔機能向上プログラムの介入効果. 日本口腔衛生学会, 2018.
- 5) 大岡貴史: 低出生体重児における摂食機能発達に関する問題と予後. 日本小児歯科学会, 2018.
- 6) 大岡貴史, 高野梨沙: 唇顎口蓋裂児の離乳過程の問題について. 日本小児保健学会, 2018.
- 7) 大岡貴史: 病診連携のもとで摂食嚥下リハビリテーションを行った1例. 日本

老年歯科医学会，2018.

- 8) 大岡貴史：本学における唇顎口蓋裂児への多科連携診療の実態調査．日本摂食嚥下リハビリテーション学会，2018.

3. 地方会

(1) 特別講演（教育講演）

- 1) 大岡貴史：施設と在宅をつなぐ連携．埼玉県摂食嚥下研究会，2018.

(2) シンポジウム

- 1) 大岡貴史：施設と在宅をつなぐ連携～ライフステージと課題～．埼玉県摂食嚥下研究会，2018.

E. その他の研究会、講演など

- 1) 大岡貴史：在宅患者の嚥下評価について．在宅医療研究会，2018.
2) 大岡貴史：肢体不自由児・者のライフステージと摂食嚥下障害．特別支援学校・学級連携懇話会，2018.
3) 大岡貴史：障がい者歯科研修会．福井県医師会・歯科医師会，2018.
4) 大岡貴史：地域連携研修会．熊谷市歯科医師会，2018.
5) 大岡貴史：明海大学歯学部同窓会学術講演会．明海大学歯学部同窓会東北支部，2018.
6) 大岡貴史：訪問看護協会・埼玉県歯科医師会合同研修会．埼玉県歯科医師会・訪問看護協会，2018.
7) 大岡貴史：埼玉県栄養士会研修会．埼玉県栄養士会，2018.
8) 越谷地域連携研修会．越谷市保健センター，2018.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 主任研究者 大岡貴史：科研費基盤C（課題番号 18K09707）「非接触・非装着型インターフェースを用いた新たな顎口腔機能検査法の基礎的研究」

3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

- 1) 大岡貴史：宮田研究奨励金（A）「上下顎骨外科手術の急性期に生じる口腔機能障害の要因に関する基礎的研究」

基礎物理学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Takayoshi Kobayashi, Kazuaki Nakata, Ichiro Yajima, Masashi Kato and Hiromichi Tsurui", Label-Free Imaging of Melanoma with Confocal Photothermal Microscopy: Differentiation between Malignant and Benign Tissue, "Bioengineering, 5(3), 67", 2018, 8

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) "Masayuki Shirakawa, Kazuaki Nakata, Takayoshi Kobayashi and Eiji Tokunaga", Light-induced association of porphyrin molecules enhanced in aqueous solution, "Water Materials on Surface 2018, Tokyo, Japan", 2018, 7
- 2) "Shugo Takahashi, Keisuke Seto, Kazuaki Nakata, Jun Miyazaki, Takayoshi Kobayashi and Eiji Tokunaga", Label-free two-color super-resolution photothermal imaging of unicellular green algae in water, "Water Materials on Surface 2018, Tokyo, Japan", 2018, 7

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 田中宏樹, 堀川大空, 中田和明, 小林孝嘉, 狩野豊. フォトサーマル顕微鏡を用いた骨格筋細胞内のミトコンドリア形態観察, 第73回日本体力医学会, 2018, 8

病態診断治療学講座

病 理 学 分 野

薬 理 学 分 野

総合臨床歯科学分野

歯科放射線学分野

口腔顎顔面外科学分野(Ⅰ)

口腔顎顔面外科学分野(Ⅱ)

高齢者歯科学分野

歯科麻酔学分野

歯科法医学分野

病理学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 草間 薫. 特集 頭頸部腫瘍 II [歯原性腫瘍と顎顔面骨の病変] その他の良性歯原性腫瘍、病理と臨床 36, 2018, 4.

B. 学術論文

2. 総説

- 1) Neopane P, Paudel D, Yoshida K, Adhikari BR, Morikawa T, Onishi A, Hiraki D, Uehara O, Sato J, Nishimura M, Chiba I, Abiko Y. Need-to-know basic about Zika virus infection for dental professionals. 北海道医療大学歯学雑誌, 2018, 6.

3. 症例報告

- 1) Adhikari BR, Nishimura M, Takimoto K, Harada F, Onishi A, Hiraki D, Paudel D, Neopane P, Utsunomiya M, Morikawa T, Yoshida K, Sato J, Shakya M, Nakayama E, Nagayasu H, Abiko Y. Adenomatous ductal proliferation/hyperplasia in the parotid gland associated without other pathological lesions; a report and survey of the literatures. Med Mol Morphol, 2018, 5.
- 2) Kikuchi K, Fukunaga S, Ide F, Hoshino M, Inoue H, Miyazaki Y, Li TJ, Kusama K. Primary intestinal-type adenocarcinoma of the buccal mucosa: A case report and literature review. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol, 2018, 5.
- 3) Kikuchi K, Ide F, Takizawa S, Suzuki S, Sakashita H, Li TJ, Kusama K. Initial-stage primary intraosseous squamous cell carcinoma derived from odontogenic keratocyst with unusual keratoameloblastomatous change of the maxilla: A case report and literature discussion. Case Rep Otolaryngol, 2018, 4.

C. その他の刊行物など

- 1) Ide F, Matsumoto N, Miyazaki Y, Kikuchi K, Kusama K. What Is the Non-calcifying Langerhans Cell-Rich Variant of Calcifying Epithelial Odontogenic Tumor?. Head Neck Pathol, 2018, 10.
- 2) Ide F, Matsumoto N, Kikuchi K, Kusama K. Microcystic Adenocarcinoma: An Initially Overlooked First Proposal of the Term. Head Neck Pathol, 2018, 9.

- 3) Ide F, Kikuchi K, Kusama K, Muramatsu T. Dr Bloodgood's contribution to peripheral ameloblastoma. J Oral Maxillofac Surg, 2018, 8.
- 4) Ide F, Matsumoto N, Kikuchi K, Kusama K. Who Originally Described Pindborg Tumor?. Head Neck Pathol, 2018, 7.
- 5) Ide F, Matsumoto N, Kikuchi K, Kusama K. Hybrid Central Odontogenic Fibroma/Central Giant Cell Lesion: A Missing Report. Head Neck Pathol, 2018, 6.

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Hiraki D, Uehara O, Harada F, Morikawa T, Takai R, Shimizu A, Toraya S, Adhikari BR, Neopane P, Paudel D, Yoshida K, Sato J, Matsuoka H, Nishimura M, Saitoh M, Hikita K, Chiba I, Abiko Y. Effects of P. gingivalis-LPS on Pancreatic Gene Expressions in Mice. IADR 96th General Session and Exhibition, London, 2018, 7.
- 2) Morikawa T, Uehara O, Harada F, Takai R, Hiraki D, Shimizu A, Toraya S, Adhikari BR, Neopane P, Paudel D, Yoshida K, Sato J, Matsuoka H, Nishimura M, Saitoh M, Hikita K, Chiba I, Abiko Y. Genome-wide Gene-expression Analysis in Mouse Hippocampus Stimulated With P. gingivalis LPS. IADR 96th General Session and Exhibition, London, 2018, 7.

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 草間 薫. 新しい診断基準に基づく歯原性腫瘍・嚢胞の診断と治療頭頸部腫瘍新 WHO 国際分類について 一歯原性腫瘍・嚢胞を中心に一. 第 63 回 日本口腔外科学会総会口腔三学会シンポジウム, 千葉, 2018, 11.
- 2) 草間 薫. 口腔がんの発生・進展機序 一口腔微生物との関わりを含めて一. 第 11 回 日本健康医療学会学術大会, 東京, 2018, 7.

(3) 一般演題

- 1) Paudel D, Utsunomiya M, Yoshida K, Hiraki D, Neopane P, Adhikari BR, Onishi A, Morikawa T, Sato J, Nishimura M, Chiba I, Matsuoka H, Abiko Y. Relieving symptom of burning mouth syndrome using ethyl loflazepate,

- milnacipran and amitriptyline: A non-interventional clinical study.
第 37 回 北海道医療大学歯学会学術大会, 北海道, 2019, 3.
- 2) Paudel D, Utsunomiya M, Yoshida K, Hiraki D, Neopane P, Adhikari BR, Onishi A, Morikawa T, Sato J, Nishimura M, Matsuoka H, Chiba I, Abiko Y. Using pain scale to analyze treatment outcome in patients with primary burning mouth syndrome, 66th JADR, 北海道, 2018, 11.
 - 3) Yoshida K, Onishi A, Hiraki D, Morikawa T, Harada F, Takai R, Uehara O, Sato J, Nishimura M, Abiko Y. Dedifferentiation and direct reprogramming of epithelial cell rests of Malassez into osteoblast like cells by epigenetic agents. 66th JADR, 北海道, 2018, 11.
 - 4) Hiraki D, Uehara O, Harada F, Morikawa T, Takai R, Onishi A, Toraya S, Adhikari BR, Neopane P, Paudel D, Yoshida K, Sato J, Matsuoka H, Nishimura M, Chiba I, Abiko Y. Effects of *P. gingivalis*-LPS on gene expression in the mice pancreas, 66th JADR, 北海道. 2018, 11.
 - 5) Takai R, Uehara O, Hiraki D, Harada F, Yoshida K, Sato J, Nishimura M, Abiko Y, Ohta T. Effects of polyamine on COL15A1 gene DNA methylation in oral cancer cells. 66th JADR, 北海道, 2018, 11.
 - 6) Morikawa T, Onishi A, Hiraki D, Sato J, Nishimura M, Abiko Y, Neopane P, Yoshida K, Adhikari BR, Paudel D. Involvement of RNase 7 expression in oral inflammatory disease and oral squamous cell carcinoma. 66th JADR, 北海道, 2018, 11.
 - 7) 平木大地, 植原 治, 虎谷斉子, 原田文也, 高井理衣, 吉田光希, 佐藤 惇, 西村学子, 千葉逸朗, 安彦善裕. 口腔扁平苔癬における E-cadherin と p16ink4a の DNA メチル化解析. 第 10 回 日本メタルフリー歯科学会学術大会, 北海道, 2018, 11.
 - 8) Paudel D, Yoshida K, Utsunomiya M, Hiraki D, Onishi A, Morikawa T, Sato J, Nishimura M, Abiko Y. Clinical characterization and evaluation of treatment outcome in patients with primary burning mouth syndrome in Health Sciences. University of Hokkaido, 第 28 回 日本口腔内科学会, 第 31 回 日本口腔診断学会 総会・合同学術大会, 神奈川, 2018, 9.
 - 9) 森川哲郎, 植原 治, 原田文也, Durga Paudel, 大西 綾, 平木大地, 宇津宮雅史, 吉田光希, 佐藤 惇, 西村学子, 安彦善裕. マウス海馬の *P. gingivalis* 由来 LPS 投与による遺伝子発現の網羅的解析, 第 28 回 日本口腔内科学会, 第 31 回 日本口腔診断学会 総会・合同学術大会, 神奈川, 2018, 9.
 - 10) 宮崎裕司, 星野 都, 金田朋久, 井上ハルミ, 菊池建太郎, 草間 薫.

口腔癌発症におけるアセトアルデヒドの関与. 第 60 回 歯科基礎医学会
学術大会・総会, 福岡, 2018, 9.

- 1 1) 井上ハルミ, 金田朋久, 星野 都, 宮崎裕司, 菊池建太郎, 坂下英明,
草間 薫. 口腔癌における癌関連線維芽細胞 (CAF) の podoplanin 発現の
意義. 第 29 回 日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 東京, 2018, 8.
- 1 2) 菊池建太郎, 福永秀一, 金田朋久, 井出文雄, 星野 都, 井上ハルミ,
宮崎裕司, 坂下英明, 草間 薫. 頬粘膜に生じた原発性腸型腺癌の一例.
第 29 回 日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 東京, 2018, 8.
- 1 3) 吉田光希, 大西 綾, Paudel Durga, Neopane Puja, 平木大地, Adhikari
Bhoj Raj, 森川哲郎, 植原 治, 佐藤 惇, 西村学子, 安彦善裕. エピジ
ェネティクス修飾を応用したマラッセ上皮細胞の脱分化と骨分化誘導能の
検討, 第 29 回 日本臨床口腔病理学会, 第 11 回 日本口腔検査学会
総会・共催学術大会, 東京, 2018, 8.
- 1 4) 星野 都, 井上勝元, 井上ハルミ, 菊池建太郎, 山内雅司, 坂下英明,
佐藤由紀子, 竹内賢吾, 長尾俊孝, 草間 薫. Clear cell-rich salivary
gland carcinoma of the buccal mucosa. 第 107 回 日本病理学会総会・
学術大会, 北海道, 2018, 6.
- 1 5) 森川哲郎, 植原 治, 原田文也, 大西 綾, 平木大地, Bhoj Raj Adhikari,
吉田光希, 佐藤 惇, 西村学子, 安彦善裕. *P. gingivalis* 由来 LPS による
マウス海馬の遺伝子発現の網羅的解析. 第 107 回 日本病理学会総会,
北海道, 2018, 6.
- 1 6) 吉田光希, Bhoj Raj Adhikari, 植原 治, 平木大地, 大西 綾, 森川哲郎,
Puja Neopane, Durga Paudel, 西村学子, 安彦善裕. アレコリンによるヒト
歯肉上皮細胞 (HGEPs) DUSP4 の DNA 高メチル化及び mRNA 発現低下. 第 107 回
日本病理学会総会, 北海道, 2018, 6.
- 1 7) 西村学子, Durga Paudel, Bhoj Raj Adhikari, 森川哲郎, Puja Neopane,
吉田光希, 佐藤 惇, 小野公之, 神野由貴, 安彦善裕. 頬粘膜に発生した
分泌癌の 1 例と文献的考察. 第 107 回 日本病理学会総会, 北海道,
2018, 6.

E. その他の研究会、講演など

- 1) 草間 薫. 口腔がんの研究からみえてきたこと. 明海大学歯学部東京都同窓会平
成 31 年度学術後援会, 東京, 2019, 1.
- 2) 草間 薫. 口腔がんの研究からみえてきた事. 入間郡市歯科医師会学術講演, 埼
玉, 2018, 8.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 井上ハルミ. 口腔癌進展における podoplanin 陽性癌関連線維芽細胞 (CAF) の意義. 基盤研究(C) 2015-2018.

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 星野 都. 口腔粘膜上皮の角化異常関連タンパクの発現について -口腔粘膜上皮の角化様式における filaggrin、filaggrin2、loricrin および involucrin の局在-

薬理学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 柏俣正典, 田島雅道, 『歯科国試パーフェクトマスター 歯科薬理学』, “医歯薬出版株式会社, 東京, pp44-84”, 2018, 11
- 2) 安達一典, 田島雅道, 奥平准之, 他 解る! 歯科薬理学 第3版, “株式会社学建書院, 東京, pp7-21, 39-42, 129-144, 211-246”, 2019, 3
- 3) 安達一典, 奥平准之, 他 ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学 第2版,” 永末書店, 京都, pp69-74, 145-152”, 2019, 3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Shi H, Nagai J, Sakatsume T, Bandow K, Okudaira N, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Uesawa Y, Takao K, Sugita Y. Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of 2-(*N*-cyclicamino)chromone Derivatives. Anticancer Res. 38, 3897-3906, 2018.
- 2) Nagai J, Shi H, Kubota Y, Bandow K, Okudaira N, Uesawa Y, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Takao K, Sugita Y. Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of Pyrano[4,3-*b*]chromones. Anticancer res 38, 4449-4457, 2018.
- 3) Shi H, Nagai J, Sakatsume T, Bandow K, Okudaira N, Uesawa Y, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Takao K, Sugita Y. Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of 3-(*N*-Cyclicamino)chromone Derivatives. Anticancer Res. 38, 4459-4467, 2018.

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Tajima M and Hasegawa A, Increase of phosphate enhances the cytotoxicity of osteoblasts by bisphosphonates, “18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology, Kyoto, Japan”, 2018, 7
- 2) Okudaira N. Long interspersed element-1 retrotransposition induced by imipramine depends on NR2A, “18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology, Kyoto, Japan”, 2018, 7
- 3) Adachi K. Noxious lingual stimulation influences the cortical excitability, “Neuroscience 2018”, 2018, 11

- 4) Tsuchiya T, Sasaki A, Yugawa M, Hasegawa N, Suda N and Adachi K, Pain control by two types of dental laser irradiation using an animal pain model induced by experimental tooth movement, “Neuroscience 2018”, 2018, 11

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 田島雅道, 足立圭亮, 長谷川彰彦, 坂上 宏, 柏俣正典, マウス胎仔顎下腺の分枝形態形成におけるオートファジーの役割, 第 60 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2018, 9
- 2) 土屋隆子, 湯川未郷, 長谷川尚哉, 安達一典, 須田直人, 矯正治療を伴う疼痛に対する動物モデルを用いた歯科用レーザー照射による疼痛制御法: 矯正痛に対する CO₂ レーザーと半導体レーザーの異なる効果, 第 77 回日本矯正歯科学会, 横浜, 2018, 10
- 3) 小峰雄介, 溝口尚子, 坂下英明, 村本和世, 味とにおいの連合学習によるマウス島皮質神経活動の変化, 日本味と匂学会第 52 回大会, 埼玉, 2018, 10
- 4) 奥平准之, Long interspersed element 1 retrotransposition induced by A β 1-40 and A β 1-43, 第 92 回 日本薬理学会年会, 大阪, 2019, 3

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 基盤研究(C)(一般) 溝口尚子, 食べる意欲に欠かせない風味認識の中樞神経機構の解明 (課題番号: 17K12054, 補助事業期間: 平成 29 年度~平成 31 年度)

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 2018 年度宮田研究奨励金 (A) 奥平准之, TRPV1 (Transient receptor potential vanilloid 1) と P2X receptor の慢性疼痛統制機構の解明
- 2) 2018 年度宮田研究奨励金 (A) 溝口尚子, 機械的刺激に対する歯根膜感覚の大脳皮質情報処理機構について

総合臨床歯科学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Sakagami H, Sugimoto M, Kanda Y, Murakami Y, Amano O, Saitoh J, Kochi A: Changes in metabolic profiles of human oral cells by benzylidene ascorbates and eugenol. *Medicines* 2018, 5 : 116; doi:10.3390/medicines5040116, 2018,10.
- 2) Murakami Y, Kawata A, Suzuki S, Fujisawa S: Cytotoxicity and pro-/anti-inflammatory properties of cinnamates, acrylates and methacrylates against RAW264.7 cells. *In Vivo*. 32: 1309-1321, 2018,11.
- 3) Murakami Y, Kawata A, Suzuki S, Fujisawa S: Cytotoxicity and pro-inflammatory properties of aliphatic alpha, beta-unsaturated acid and ester monomers in RAW264.7 cells and their chemical reactivity. *In Vivo*. 33: 313-323, 2019,3.

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 鏡 智雄、荒木久生、川邊好弘、溝部健一、浅見健介：広汎型慢性歯周炎患者に歯周外科治療で対応した一症例。第 61 回春季日本歯周病学会学術大会，大阪，2018 年 6 月。
- 2) 谷本博則、荒木久生：広汎型慢性歯周炎患者に対し包括的治療を行った一症例。第 61 回春季日本歯周病学会学術大会，大阪，2018 年 6 月。
- 3) 三木朱里、川田朗史、井上瑛弘、松村正晃、昔農直美、田所瑞希、下山大慈、香村亜希子、岡田知之、渡辺裕美、岡田典久、長谷川彰彦、荒木久生、村上幸生：明海大学歯学部付属病院口腔診断科における直近 2 年間の初診患者動向調査、第 31 回日本口腔診断学会，横浜，2018 年 9 月。
- 4) 渡辺裕美、川田朗史、昔農直美、井上瑛弘、三木朱里、松村正晃、岡田知之、岡田典久、村上幸生：埼玉県秩父郡皆野町における口腔癌検診の実施概要。第 31 回日本口腔診断学会，横浜，2018 年 9 月。
- 5) 井上瑛弘、村上幸生、岡田知之、三木朱里、川田朗史、昔農直美、松村正晃：支台歯に動揺のある上顎前歯部欠損に対してロングスパンブリッジで対応した 1 例。第 11 回日本総合歯科学会，鹿児島，2018 年 10 月。
- 6) 三木朱里、岡田知之、村上幸生、井上瑛弘、松村正晃、昔農直美、川田朗史：人工歯咬耗に起因する咀嚼不良患者に複製義歯を用いて咬合再構成を図った 1 例。第 11 回日本総合歯科学会，鹿児島，2018 年 10 月。
- 7) 岡田知之、井上瑛弘、村上幸生、三木朱里、川田朗史、松村正晃、昔農直美：

全身麻酔下での歯科治療が必要となった歯科恐怖症患者の1例. 第11回日本総合歯科学会, 鹿児島, 2018年10月.

- 8) 浅見健介、川邊好弘、溝部健一、荒木久生：広汎型慢性歯周炎患者に歯周外科治療で対応した一症例. 第61回秋季日本歯周病学会学術大会, 横浜, 2018年10月.
- 9) 谷本博則、荒木久生、溝部健一, 広汎型慢性歯周炎患者に対して歯周外科治療を行った一症例, 第61回秋季日本歯周病学会学術大会, 横浜, 2018年10月.
- 10) 宮崎 啓、荒木久生、溝部健一：広汎型慢性歯周炎患者に対し包括的治療を行った一症例. 第61回秋季日本歯周病学会学術大会, 横浜, 2018年10月.

E. その他の研究会、講演など

- 1) 鈴木正二：医療安全. 第10回埼玉県歯科医師会・明海大学歯学部共催 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, さいたま, 2018年10月.
- 2) 村上幸生：歯科医師臨床研修制度, 研修目標, 研修方略, 研修評価. 第10回埼玉県歯科医師会・明海大学歯学部共催 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, さいたま, 2018年10月.
- 3) 川田朗史：KJ法. 第10回埼玉県歯科医師会・明海大学歯学部共催 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, さいたま, 2018年10月.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 村上幸生：抗酸化性フェノール関連化合物による酸化還元感受性転写因子の活性化制御機構を探る. 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C), 2018年.

3. 宮田研究奨励金(A)および(E)

- 1) 村上幸生：テトラサイクリン関連化合物/ポリフェノールの組み合わせによる抗炎症効果の増強化作用を探る. 宮田研究奨励金(A), 2018年.

歯科放射線学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 森本泰宏, 田中達朗, 鬼頭慎司: いまこそ学ぼう CBCT 読像・診断のマスターガイド, デンタルダイヤモンド社, 2018. 4
- 2) 鬼頭慎司(分担執筆): 口腔・歯・顎・顔面 ポケット画像解剖, 医学情報社, 2019.2
- 3) 鬼頭慎司, 高橋伸年, 小澤智宣, 大高祐聖, 井澤真希: 2019 年度歯科放射線学実習帳, リュウワ印刷, 2019. 3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Asami R, Aboshi H, Ohtaka Y, Odaka K, Abe S, Saka H : Age estimation based on the volume change in the maxillary premolar crown using micro CT. *Legal Medicine* 37, 18-24, 2019
- 2) Otaka Y, Harata Y, Izawa M, Iwawaki A, Asami R, Saka H, Okumura Y : Efficacy of Shields Against the Backscatter Radiation of Portable X-ray Units. *Radiation Safety Management* 17, 1-12, 2018
- 3) Iwawaki A, Otaka Y, Asami R, Ozawa T, Izawa M, Saka H : The study of protection of operators and surrounding workers at the time of using portable intraoral X-ray unit. *Legal Medicine* 33, 66-71, 2018
- 4) 浅見瑠璃, 網干博文, 岩脇淳志, 大高祐聖, 齊藤嘉大, 須藤健太郎, 奥村泰彦, 坂 英樹: マイクロ X 線 CT を用いた上顎第一小臼歯の髓室変化に着目した年齢推定法. *日本法歯科医学会誌* 11, 7-9, 2019
- 5) Wakasugi-Sato N, Habu M, Oda M, Tanaka T, Nishida I, Wakasugi T, Kokuryo S, Yoshiga D, Sago T, Harano N, Kito S, Matsumoto-Takeda S, Jyoujima T, Miyamura Y, Yada N, Sasaguri M, Morimoto Y : Characteristics of diffusion-weighted images and apparent diffusion coefficients of ranulas and other masses in and around the floor of the mouth. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* 127, 88-98, 2019 (DOI: 10.1016/j.oooo.2018.09.002.)
- 6) Oda M, Nishida I, Miyamoto I, Saeki K, Tanaka T, Kito S, Yamamoto N, Yada N, Yoshiga D, Matsumoto-Takeda S, Wakasugi-Sato N, Habu M, Kodama M, Kokuryo S, Osawa K, Nishimura S, Jyoujima T, Miyamura Y, Matsuo K, Tominaga K, Yoshioka I, Maki K, Morimoto Y : Significance and usefulness of imaging characteristics of gubernaculum tracts for the diagnosis of odontogenic tumors or cysts. *PLoS ONE* 7, 13, 2018 (DOI: 10.1371/journal.pone.0199285)

- 7) Nishimura S, Tanaka T, Oda M, Habu H, Kodama M, Yoshiga D, Osawa K, Kokuryo S, Miyamoto I, Kito S, Wakasugi-Sato N, Matsumoto-Takeda S, Joujima T, Miyamura Y, Hitomi S, Yamamoto N, Uehara M, Sasaguri M, Ono K, Yoshioka I, Tominaga K, Morimoto Y : Functional evaluation of swallowing in patients with tongue cancers before and after surgery using high-speed continuous MR images based on T2-weighted sequences : Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol 125, 88-98, 2018 (DOI: 10.1016/j.oooo.2017.09.012)

3. 症例報告

- 1) Nishimura S, Osawa K, Tanaka T, Imamura Y, Kokuryo S, Habu M, Jyoujima T, Miyamura Y, Mochida K, Inoue T, Kito S, Wakasugi-Sato N, Matsumoto-Takeda S, Oda M, Yoshiga D, Kodama M, Sasaguri M, Tominaga K, Yoshioka I, Morimoto Y: Multiple mandibular static bone depressions attached to the three major salivary glands: A case report. Oral Radiol 34, 277-280, 2018 (DOI: 10.1007/s11282-017-0304-x)

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Miyamura Y, Tanaka T, Wakasugi-Sato N, Matsumoto-Takeda S, Oda M, Kito S, Joujima T, Morimoto Y : Characteristics of gubernaculum tracts on radiological examinations. Asia-Pacific Conference 2018, Fukuoka (Kyushu Dental University), 2018. 5
- 2) Mochida K, Tanaka T, Wakasugi-Sato N, Matsumoto-Takeda S, Oda M, Kito S, Joujima T, Miyamura Y, Morimoto Y : A case report of multiple static bone depressions attached to the major salivary glands. Asia-Pacific Conference 2018, Fukuoka (Kyushu Dental University), 2018. 5

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 浅見瑠璃 , 網干博文, 岩脇淳志, 牛尾亮介, 石井 猛, 大高祐聖, 坂 英樹 : マイクロ X 線 CT を用いた上顎小白歯の歯冠部体積変化に着目した年齢推定法. 日本法医学会第 87 回学術関東地方集会, 東京, 2018. 10
- 2) 大高祐聖, 岩脇淳志 , 浅見瑠璃, 牛尾亮介 , 石井 猛 , 並木修司 , 坂 英樹: 矩形しぼりを用いた個人識別業務従事者の被ばく線量低減に関する研究. 日本法歯科医学会第 12 回学術大会, 千葉, 2018. 10

- 3) 大高祐聖, 原田康雄, 井澤真希, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 坂 英樹, 奥村泰彦: 携帯型口内法 X 線撮影における矩形絞りによる術者被ばくの低減. 日本歯科放射線学会第 59 回日本歯科放射線学会大会, 横須賀, 2018. 5
- 4) 井上智貴, 田中達朗, 椎葉俊司, 原野 望, 左合徹平, 小田昌史, 鬼頭慎司, 若杉奈緒, 松本 忍, 西村 瞬, 城嶋孝章, 宮村侑一, 森本泰宏: 三叉神経痛の診断・治療における MRI の有効性. 第 78 回九州歯科学会総会・学会大会, 北九州, 2018. 5
- 5) 城嶋孝章, 西村 瞬, 鬼頭慎司, 田中達朗, 小田昌史, 若杉奈緒, 松本 忍, 宮村侑一, 井上智貴, 森本泰宏: 三大唾液腺の全近傍に生じた骨空洞の 1 症例. 第 78 回九州歯科学会総会・学会大会, 北九州, 2018. 5
- 6) 小田昌史, 田中達朗, 鬼頭慎司, 松本 (武田) 忍, 若杉 (佐藤) 奈緒, 植田愛彦, 前田隆洋, 城嶋孝章, 宮村侑一, 森本泰宏: 歯牙腫と導帯管の関連性及び特徴的画像所見. 日本歯科放射線学会総会・学会大会 (神奈川歯科大学), 横須賀, 2018. 5
- 7) 西村 瞬, 田中達朗, 小田昌史, 今村義治, 城嶋孝章, 宮村侑一, 若杉 (佐藤) 奈緒, 松本 (武田) 忍, 鬼頭慎司, 森本泰宏: T2 強調像を応用した超高速 MRI による舌癌患者の手術前後における嚥下機能評価の有効性. 日本歯科放射線学会総会・学会大会, 横須賀, 2018. 5
- 8) 森本泰宏, 西村 瞬, 植田愛彦, 山下浩平, 福島直樹, 辻 裕文, 曾我富美雄, 楠崎晴規, 木村京子, 城嶋孝章, 宮村侑一, 若杉 (佐藤) 奈緒, 松本 (武田) 忍, 小田昌史, 鬼頭慎司, 田中達朗: 三大唾液腺に近接して発症し, 唾液腺組織の迷入が疑われた骨空洞の一例. 第 18 回日本外傷歯学会総会・学会大会, 福岡県, 2018. 7
- 9) 小田昌史, 田中達朗, 鬼頭慎司, 福島直樹, 福井正彦, 辻 裕文, 有住隆史, 曾我富美雄, 城嶋孝章, 宮村侑一, 森本泰宏: パノラマエックス線検査による口蓋扁桃結石の検出率. 第 18 回日本外傷歯学会総会・学会大会, 福岡県, 2018. 7
- 10) 小田昌史, 田中達朗, 鬼頭慎司, 松本 (武田) 忍, 若杉 (佐藤) 奈緒, 植田愛彦, 前田隆洋, 山下浩平, 城嶋孝章, 宮村侑一, 森本泰宏: 萌出遅延を伴う上顎前歯の導帯管に関する検討. 第 31 回口腔診断学会総会・学会大会, 横浜市, 2018. 9
- 11) 小田昌史, 鬼頭慎司, 松本 (武田) 忍, 若杉 (佐藤) 奈緒, 植田愛彦, 前田隆洋, 山下浩平, 城嶋孝章, 宮村侑一, 森本泰宏: 過剰埋伏歯の導帯管の特殊性. 日本歯科放射線学会第 23 回臨床画像大会, 東京, 2018. 10

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 若手研究 (B): 大高祐聖 (代表). 歯科用携帯型エックス線発生装置の安全基準ガイドラインの作製, 2018. 5

- 2) 基盤研究 (C) : 鬼頭慎司 (代表) . 口腔癌転移性リンパ節の新しい診断基準の開発-オーダーメイドの診断を目指して-, 2018. 5
- 3) 基盤研究 (C) : 鬼頭慎司 (研究分担者) . MRI 新技術を用いた上気道分析 - OSAS 患者の治療基準の作成を目指して-, 2018. 5

口腔顎顔面外科学(第 1 分野)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 虻川 東嗣, 近津 大地: クイズで学ぶ口腔疾患 123 診断力てすと 5 上顎歯肉の腫脹. デンタルダイヤモンド社 2019.3
- 2) 森 一将: Dd 口腔粘膜疾患セミナー 前がん病変・口腔がんを見逃さない! 鑑別診断のポイント. DENTAL DIAMOND 43 2018.4

B. 学術論文

3. 症例報告

- 1) 藤原敬子, 森 一将, 南 弘子, 嶋田 淳: 抜歯後疼痛を機に判明した SAPHO 症候群の 1 例. 日本口腔診断学会雑誌 31 160-165 2018

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 虻川東嗣, 近津大地, 嶋田 淳: 進行性下顎頭吸収(PCR)の鑑別診断 下顎後退症との違いを明確化する検査について. 第 72 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 2018.5
- 2) 藤原敬子, 森 一将, 川口祥子, 嶋田 淳: C 型肝炎患者に生じた混合感染症の 1 例. 第 72 回日本口腔科学会学術集会 2018.5
- 3) 森 一将, 藤原敬子, 神谷美保子, 嶋田 淳: 抗血栓療法治療下における下顎骨骨髓炎に対し下顎骨半側切除術を施行した 1 例. 第 72 回日本口腔科学会学術集会 2018.5
- 4) 森 一将: ケモカイン CXCL11 の血管新生抑制を介した抗腫瘍作用の検討. 明海歯科医学会第 35 回学術大会 2018.6
- 5) 間崎 誠, 虻川東嗣, 田草川 徹, 園川拓哉, 大塚雄一郎, 須田直人, 嶋田 淳: 顔面非対称をともなった上顎歯列弓狭窄症例に対する 2-stage surgery の評価. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2018.6
- 6) 園川拓哉, 虻川東嗣, 間崎 誠, 田草川徹, 大塚雄一郎, 須田直人, 嶋田 淳: 上顎片側大白歯欠損を伴う顔面非対称症例における下顎骨 cant 調整機能付きハイブリットスプリントの応用. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2018.6
- 7) 大塚雄一郎, 豊田亜希子, 東金由莉, 田草川徹, 虻川東嗣, 嶋田 淳, 須田直人: SARPE を施行した 4 例における骨延長部の骨形成. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2018.6

- 8) 森 一将：口腔内疼痛と *Candida albicans* についての臨床検討．第 60 回歯科基礎医学会学術大会 2018.9
- 9) 松本安吏，森 一将，藤原敬子，嶋田 淳：抜歯後に発症した *Acinetobacter* 感染症の 1 例．第 52 回日本口腔科学会関東地方部会 2018.9
- 1 0) 青木竜平，虻川東嗣，正木喜博，嶋田 淳：口内法による頬側下顎角部の逆性埋伏歯抜歯術—内視鏡支援下での超音波切削器具の応用—．第 52 回 NPO 法人日本口腔科学会関東地方部会 2018.9
- 1 1) 森 一将，藤原敬子，嶋田 淳：口腔内疼痛への *Candida albicans* の関与についての臨床的検討．第 63 回日本口腔外科学会学術総会，学術大会 2018.11
- 1 2) 藤原敬子，森 一将，酒井文徳，嶋田 淳：上顎洞を占拠した巨大複雑性歯牙腫の一例．第 63 回日本口腔外科学会学術総会，学術大会 2018.11
- 1 3) 虻川東嗣：エビデンスに基づいた顎矯正手術の周術期管理—短期決戦の質向上を考える—．第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2018.11
- 1 4) 川口祥子，虻川東嗣，田村暢章，森 一将，青木竜平，園川拓哉，小林真彦，龍田恒康，竹島 浩，嶋田 淳：LPS 誘導性破骨細胞分化に対するカルデクリンの効果．第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2018.11
- 1 5) 杉山智洋，虻川東嗣，正木喜博，嶋田淳：若年者に生じた咀嚼筋腱・腱膜過形成症に対して外科的治療を行った 1 例．第 206 回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2018.12
- 1 6) 齋藤 翔，虻川東嗣，園川拓哉，高木雄介，嶋田 淳：矯正歯科の周術期協力のもとに金属アレルギー患者の顎矯正手術を行った 1 例—特に咬合関係の維持について—．第 28 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 2019.3
- 1 7) 藤原敬子，森 一将，嶋田 淳：シェーグレン症候群患者に併発した舌下型ガマ腫の 1 例．第 28 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 2019.3
- 1 8) 森 一将，高木沙央理，大野由夏，藤原敬子，松本安吏，青木竜平，小長谷光，長谷川彰彦，嶋田 淳：舌腫瘍手術の周術期に急性心筋梗塞を発症した 1 例．第 28 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 2019.3
- 1 9) 松本安吏，森 一将，藤原敬子，嶋田 淳：過去 8 年間における 80 歳以上の入院症例の臨床的検討．第 28 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 2019.3

E. その他の研究会，講演など

- 1) 藤原敬子：あなたのかかっている病気・・・歯周病が原因では？
IMS 太田中央総合病院市民公開講座 2018.8
- 2) 森 一将：骨粗鬆症治療について～歯科医師の立場から～．坂戸鶴ヶ島医師会学術講演会 2018.7
- 3) 森 一将：ARONJ（骨吸収抑制薬関連顎骨壊死）の症例検討—歯科口腔外科の立

場から-。秩父郡市整形外科研究会検討会 2018.11

- 4) 龍田恒康, インプラント治療における有病者へ対応. 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修プログラム, CE インプラントベーシック, 千葉県浦安市, 2018.4
- 5) 龍田恒康, インプラント治療におけるモニタリング. 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修プログラム, CE インプラントベーシック, 千葉県浦安市, 2018.6
- 6) 龍田恒康, インプラント治療における合併症への対応. 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修プログラム, CE インプラントベーシック, 千葉県浦安市, 2018.9
- 7) 龍田恒康, 歯科医療と救急蘇生. 平成 30 年度 PDI 埼玉歯科診療所研修会, 埼玉県入間市, 2018.9
- 8) 龍田恒康, 歯科診療における抜歯のポイント. 平成 30 年度本庄市児玉郡歯科医師会学術講演, 埼玉県本庄市, 2019.1

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 虻川 東嗣: 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 骨誘導因子溶出型吸収性メッシュプレートの開発: プレクリニカルモデルへの展開, 2016-2018
- 2) 森 一将: 学術研究助成基金助成金基盤研究 (C) 前癌病変および扁平上皮癌における腫瘍関連マクロファージの分化誘導機構と機能解析. 課題番号 17K11684 2017-2019

口腔顎顔面外科学(第2分野)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 眞木吉信, 池田利恵, 遠藤圭子, 大川由一, 福島正義, 松田裕子, 坂下英明, 最新歯科衛生士教本 用語集ポケット版, 2019, 3, 医歯薬出版, 東京

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 鈴木正二, 「専務嘱託歯科医の待遇改善についての具申」から見る海軍嘱託歯科医師と歯科軍医制度との関係についての考察, "日本歯科医史学会会誌第32巻第4号, 408-422.", 2018, 9

2. 総説

- 1) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 鈴木正二, 下顎骨顎矯正手術の発展の歴史(II)(総説), "小児口腔外科学会誌, 第28巻1号, 1-20.", 2018, 6

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Masakatsu Fukuda and Hideaki Sakashita, The role of glutathione peroxidase enzyme 4 (GPX4) in human squamous cell carcinoma of the oral cavity., International Conference on Cancer Research and Diagnostics., 2018, 8, 15-16 in Singapore.

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 鈴木 円, 石田 融, 塚本亮一, 大作喜代子, 戸田朋子, 坂下英明, 果実を用いた口腔ケアの効果に関する検討. 第15回日本口腔ケア学会総会・学術集会. 福岡, 2018, 4
- 2) 坂下英明, 患者と術者に安全・安心な抜歯 その基本から応用まで. 第36回日本顎咬合学会学術大会・総会. 東京, 2018, 6
- 3) 釜本宗史, 高木純一郎, 名倉 功, 坂下英明, 宮田 勝, 当科における顎顔面骨骨折の臨床的検討. 第20回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会. 福岡, 2018, 7

- 4) Masakatsu FUKUDA and Hideaki SAKASHITA, Impact of glutathione peroxidase enzyme 4 (GPX4) in human oral cancer. 第 77 回 日本癌学会総会・学術大会, 2018, 9
- 5) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 鈴木正二, 松木正直著「戦傷口腔外科学」講義録についての考察, 第 46 回 日本歯科医史学会・学術大会, 東京, 2018, 9, 29
- 6) 鈴木円, 坂下英明, 歯周治療後に異常出血をきたしたりバーロキサバン服用患者の 1 例. 第 28 回日本口腔内科学会・第 31 日本口腔診断学会 合同学術集会. 神奈川, 2018, 11
- 7) 小笠原 悠大, 福田正勝, 林 宏泰, 井上勝元, 奥 結香, 重松久夫, 菊池建太郎, 坂下英明, 小児の舌根部に生じた良性腫瘍の 2 例. 第 30 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 川越, 2018, 11, 24
- 8) 馬越誠之, 須賀則幸, 小笠原悠大, 坂下英明, 妊産婦における歯性感染症の 3 例. 第 30 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会. 埼玉, 2018, 11
- 9) 塚本亮一, 鈴木 円, 石田 融, 坂下英明, 幼児の口腔内にプラスチック様異物の残留を認めた 2 例. 第 30 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会. 埼玉, 2018, 11
- 1 0) 岡田宗久, 本河生実, 坂下英明, 当院における小児患者 5 年間の臨床統計的観察. 第 30 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会. 埼玉, 2018, 11
- 1 1) 鈴木 円, 石田 融, 塚本亮一, 橋爪 雅, 坂下英明, 右側上顎小白歯部に複数の埋伏過剰歯を認めた 1 例. 第 30 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会. 埼玉, 2018, 11
- 1 2) 高木純一郎, 宮田 勝, 釜本宗史, 名倉 功, 坂下英明, 口腔内に生じた先天性腫瘍の 2 例. 第 30 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会. 埼玉, 2018, 11
- 1 3) 平良芙蓉子, 奥 結香, 重松久夫, 真野樹子, 須田直人, 坂下英明, 顎裂部に歯胚を含む腫瘍を認めた 3 症例. 第 30 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会. 埼玉, 2018, 11

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

H30-R2 年：基盤研究(C)：「脂肪酸合成を標的とした口腔癌の増殖・進展メカニズムの解析」, 研究代表者：福田正勝, 416 万円

高齢者歯科学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) YAEKO HARA, HIROSHI SAKAGAMI, HAIXIA SHI, TOMOYUKI ABE, NOBUAKI TAMURA, HIROSHI TAKESHIMA, NORIO HORIE, TAKAHIRO KANEKO, HIROSHI SHIRATSUCHI, TADAYOSHI KANEKO : Partial Protection of Paclitaxel-induced Neurotoxicity by Antioxidants. *In Vivo* 32:745-752 (2018) doi: 10.21873/invivo.11303., 2018,7
- 2) HIROSHI SAKAGAMI, YAEKO HARA, HAIXIA SHI, SOICHI IWAMA, MIKA NAKAGAWA, HAYATO SUZUKI, KENTA TANAKA, TOMOYUKI ABE, NOBUAKI TAMURA, HIROSHI TAKESHIMA, NORIO HORIE, TAKAHIRO KANEKO, HIROSHI SHIRATSUCHI, TADAYOSHI KANEKO : Change in Anticancer Drug Sensitivity During Neuronal Differentiation of PC12 Cells. *In Vivo* 32:765-770(2018) doi: 10.21873/invivo.11306., 2018,7
- 3) 川口祥子, 坂東健二郎, 田村暢章, 友村美根子, 嶋田淳, 友村明人. LPS 誘導性破骨細胞分化に対するカルデクリンの効果. *明海歯科医学*, 47(2): 126-138, 2018, 2018.10

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 田村暢章, 松本 勝, 竹下 玲, 大岡貴史, 小林真彦, 北 邦宏, 安井利一, 竹島 浩: 本学歯学部における口腔ケア実習 (2017 年度) に対するアンケート調査, 第 15 回日本口腔ケア学会総会・学術大会 (福岡), 2018. 4
- 2) 田村暢章, 坂上 宏, 岩間聡一, 中川美香, 鈴木隼人, 田中健大, 阿部智之, 竹島 浩: $A\beta$ 誘発性神経細胞死に対する抑制物質の探索, 日本老年歯科医学会第 29 回学術大会 (東京), 2018. 6
- 3) 川口祥子, 虻川東嗣, 田村暢章, 森 一将, 青木竜平, 園川拓哉, 小林真彦, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田淳: LPS 誘導性破骨細胞分化に対する血清カルシウム低下因子カルデクリンの効果, 第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (千葉), 2018. 11

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

(研究代表者) 田村暢章: 水中運動による身体機能改善と唾液老化マーカーへの

影響. 科学研究費助成事業（學術研究助成基金助成金），基盤研究(C)2017-2019

歯科麻酔学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 小長谷 光：第 6 章全身管理上問題となる疾患の病態と患者管理 I 呼吸系疾患：
歯科麻酔学. 福島和昭 監修, 一戸達也, 北畑 洋, 嶋田昌彦, 丹羽 均,
宮脇卓也 編 第 8 版, 医歯薬出版, 東京, pp314-324, 2019. 2
- 2) 小長谷 光：第 8 章周術期管理 2 術中管理・合併症：臨床歯科麻酔学. 丹羽 均,
入船正浩, 小長谷 光, 澁谷 徹, 深山治久 編 第 5 版, 永末書店, 東京,
pp153-166, 2019. 1

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Shimada A, Ishigaki S, Matsuka Y, Komiyama O, Torisu T, Oono Y, Sato H, Naganawa T, Mine A, Yamazaki Y, Okura K, Sakuma Y, Sasaki K. Effects of exercise therapy on painful temporomandibular disorders. J Oral Rehabil. 2019;46(5):475-481.
- 2) 内田茂則, 早川華穂, 久保英範, 小林克江, 牧野兼三, 高木沙央理, 大野由夏, 長谷川彰彦, 小長谷光, 静脈内鎮静法下にアナフィラキシーを呈した 1 例, 日本歯科麻酔学会雑誌, 46 巻 2 号, 92-94, 2018, 4

2. 総説

- 1) 大野由夏, 小長谷光, conditioned pain modulation (CPM) : 術後慢性痛が生じるか? CPM を用いて術前に予測する!! (徹底分析シリーズ 術後慢性痛への挑戦)
LiSA : Life support and anesthesia, 25 巻 7 号, 766-771, 2018, 7
- 2) 大野由夏, 歯科衛生士のための教育講座これであなたもエキスパート! 人には聞けない鎮静法の管理と介助ー歯科衛生士のための鎮静管理のキーポイントー,
日本歯科麻酔学会雑誌, 46 巻 4 号, 157-163, 2018, 10

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Katsuhiko Matsumoto, Hideyuki Nakagawa, Yuki Ichikawa, Shinichi Nishibe, Akira Kitamura, Hikaru Kohase. Tongue bite injury associated with transcranial electric stimulation motor-evoked potential monitoring during carotid endarterectomy. Euroanaesthesia 2018, Copenhagen, Denmark, Jun, 2018

- 2) Yuka Oono, Keiko Takashima, Toshikatsu Imamura, Shigenori Uchida, Saori Takagi, Kenzo Makino, Hiroshi Nagasaka, Parisa Gazerani, Kelun Wang, Lars Arendt-Nielsen, Hikaru Kohase. Conditioned pain modulation (CPM) predicts acute post-operative pain in orthognathic surgery, 17th World Congress on Pain (IASP), Boston, USA, Sep, 2018
- 3) Kaho Hayakawa, Saori Takagi, Keiko Takashima, Toshikatsu Imamura, Shigenori Uchida, Kenzo Makino, Yuka Oono, Hikaru Kohase. Can the increase of emotional sweating rate predict the disturbance of anterograde amnesic effect during intravenous sedation? 17th World Congress on Pain (IASP), Boston, USA, Sep, 2018
- 4) Keiko Takashima, Yuka Oono¹⁾, Katsuhiko Matsumoto, Kaho Hayakawa, Mayumi Matsumura, Noriko Uesugi, Shigenori Uchida, Saori Takagi, Katsue Kobayashi, Kenzo Makino, Akihiko Hasegawa, Hiroshi Nagasaka, Kelun Wang, Lars Arendt-Nielsen, Hikaru Kohase. Pain catastrophizing scale (PCS)-magnification correlates the period of acute post-operative pain in orthognathic surgery. IFDAS2018, Nara, Japan, Oct, 2018.
- 5) Katsuhiko Matsumoto, Keiko Takashima, Kaho Hayakawa, Mayumi Matsumura, Noriko Uesugi, Hiroshi Oyake, Katsue Kobayashi, Shigenori Uchida, Kenzo Makino, Saori Takagi, Yuka Oono, Akihiko Hasegawa, Hiroshi Nagasaka, Hikaru Kohase. Intravenous sedation management for a patient with severe heart failure before Fontan procedure. IFDAS2018, Nara, Japan, Oct, 2018

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 大野由夏, 内因性疼痛調節機構の解明とその臨床応用の可能性
—動物からヒトへ 急性および慢性疼痛コントロールを目指したトランスレーショナルリサーチの軌跡—, 第46回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良(奈良), 2018, 10
- 2) 斎藤智彦, 岩瀬良範, 今村敏克, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 牧野兼三, paperChart ワークショップ・ハンズオンセミナー
～今日から出来る電子麻酔記録～出来るようになるまで徹底的に教えます! 第46回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良(奈良), 2018, 10

(3) 一般演題

- 1) 高島恵子, 大野由夏, 内田茂則, 高木沙央理, 長坂浩, 小長谷光, Conditioned pain modulation (CPM) は顎変形症手術の術後痛発症を予測する, 日本麻酔科学会第65回学術集会, 横浜(神奈川), 2018, 5
- 2) 島田明子, 大野由夏, デンマークにおける大学院教育, 第37回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 郡山(福島), 2018, 7

- 3) 松村真由美, 早川華穂, 高島恵子, 上杉典子, 松本勝洋, 内田茂則, 田島徹, 高木沙央理, 大野由夏, 長谷川彰彦, 小長谷光, 超高齢者 100 歳に対する全身麻酔経験, 第 46 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良(奈良), 2018, 10
- 4) 早川華穂, 高木沙央理, 高島恵子, 松村真由美, 松本勝洋, 上杉典子, 内田茂則, 大野由夏, 山田守正, 長谷川彰彦, 小長谷光, 前向性健忘効果を得るために必要な麻酔量を精神性発汗量の測定で予測できるか?, 第 46 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良(奈良), 2018, 10
- 5) 高島恵子, 大野由夏, 松本勝洋, 松村真由美, 上杉典子, 早川華穂, 内田茂則, 高木沙央理, 長谷川彰彦, 長坂浩, 小長谷光, 顎変形症手術において術前の conditioned pain modulation (CPM) 測定は術後痛発症を予測する, 第 46 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良(奈良), 2018, 10
- 6) 松本勝洋, 小宅宏史, 松村真由美, 上杉典子, 早川華穂, 高島恵子, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 行動観察的アプローチによるラットの舌に惹起された疼痛の評価, 第 46 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良(奈良), 2018, 10
- 7) 星島宏, 西澤秀哉, 伊藤直樹, 高橋正人, 相崎邦雄, 長坂浩, 菊地公治, 大野聖加, 小林克江, 牧野兼三, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光, GlideScope は気管挿管時の心拍数, 血圧の上昇を抑制しない—Macintosh 型喉頭鏡との比較 ; a systematic review, 第 46 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良(奈良), 2018, 10
- 8) 鈴木史人, 大野由夏, 高木沙央理, 泉幸江, 浅尾直哉, 小長谷光, 麻酔導入時に AWS により喉頭軟化症と診断した高齢者患者の 1 例, 第 46 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良(奈良), 2018, 10
- 9) 高橋(今村)敏克, 小長谷光, 自動麻酔記録ソフトウェア paperChart と歯科用レセプトコンピュータとの連帯の試み, 第 46 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良(奈良), 2018, 10
- 10) 鈴木史人, 大野由夏, 高木沙央理, 泉幸江, 浅尾直哉, 小長谷光, 塩酸デクスメデトミジンによる静脈内鎮静後に反射性失神を呈した 1 例, 第 46 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良(奈良), 2018, 10
- 11) 高木沙央理, 早川華穂, 鈴木史人, 内田茂則, 大野由夏, 小長谷光, 精神性発汗量の変動および麻酔薬濃度による前向性健忘効果の阻害の予測, 日本臨床麻酔学会第 38 回大会, 北九州(福岡), 2018, 11
- 12) 原田達也, 松本勝洋, 高橋翔平, 稲田譲, 小林克江, 牧野兼三, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 開業歯科医院における自動麻酔記録ソフトウェア搭載鎮静タワーの臨床的有用性, 第 35 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 中野(東京), 2018, 11
- 13) 内田茂則, 松村真由美, 早川華穂, 高島恵子, 松本勝洋, 上杉典子, 小林克江, 牧野兼三, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 著しく非協力な心疾患を有する Down

症候群患者の全身麻酔, 第 35 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 中野(東京), 2018, 11

1 4) 森一将, 高木沙央理, 大野由夏, 藤原敬子, 松本安史, 青木竜平, 小長谷光, 長谷川彰彦, 嶋田淳, 舌腫瘍手術の周術期に急性心筋梗塞を発症した 1 例, 第 28 回日本有病者歯科医療学会学術大会, 千葉(千葉), 2019, 3

1 5) 松本勝洋, 高島恵子, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 嚥下障害を有する脊髄小脳変性症患者に対する全身麻酔下歯科治療, 第 28 回日本有病者歯科医療学会学術大会, 千葉(千葉), 2019, 3

3. 地方会

(3) 一般演題

1) 上杉典子, 高島恵子, 早川華穂, 松本勝洋, 松村真由美, 田島徹, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 長谷川彰彦, 小長谷光, ビソプロロールフマル酸塩投与により PQ 間隔が延長した 1 症例, 第 35 回関東臨床歯科麻酔懇話会, 横浜(神奈川), 2018, 6

2) 内田茂則, 神経障害性疼痛に着目した口腔灼熱症候群の病態解明のための新たなモデルラットの開発, 明海歯科医学会第 35 回学術大会, 坂戸(埼玉), 2018, 6

3) 早川華穂, 精神性発汗量の測定による前向き健忘効果の阻害の予測, 明海歯科医学会第 37 回学術大会, 第 26 回大学院歯学研究科中間研究発表会, 坂戸(埼玉), 2018, 11

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

1) 大野由夏, 遷延性術後痛発症スクリーニング検査法の開発, 基盤研究(C), 2018-2020

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

1) 宮田研究奨励金 (A), 高木沙央理, 静脈内鎮静法下歯科治療におけるストレス反応予測モニタリング法の開発, 2018, 5

2) 宮田研究奨励金 (E), 早川華穂, 精神性発汗量モニタリング法を用いた確実な健忘効果を得る麻酔管理方法の開発, 2018, 4

歯科法医学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Atsushi Iwawaki, Yusei Otaka, Ruri Asami, Tomonori Ozawa, Maki Izawa and Hideki Saka, The study of protection of operators and surrounding workers at the time of using portable intraoral X-ray unit. "Legal Medicine 33, 66-71, 2018", 2018, 6
- 2) Yusei Otaka, Yasuo Harata, Maki Izawa, Atsushi Iwawaki Ruri Asami, Hideki Saka, Yasuhiko Okumura, Efficacy of Shields Against the Backscatter Radiation of Portable X-ray Units. "Radiation Safety Management 17, 1-12, 2018", 2018, 10
- 3) Ruri Asami, Hirofumi Aboshi, Atsushi Iwawaki, Yusei Ohtaka, Kento Odaka, Shinichi Abe, Hideki Saka, Age estimation based on the volume change in the maxillary premolar crown using micro CT. "Legal Medicine 37, 18-24", 2019, 3

4. 短報

- 1) 浅見瑠璃, 網干博文, 岩脇淳志, 大高祐聖, 齊藤嘉大, 須藤健太郎, 奥村泰彦, 坂 英樹
マイクロ X 線 CT を用いた上顎第一小白歯の髓室変化に着目した年齢推定法,
日本法歯科医学会誌 11(1), 9-11, 2019, 3

C. その他の刊行物など

- 1) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu Island, Republic of Palau on July 2018, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2018, 8
- 2) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu Island, Republic of Palau on July 2018, Historic Preservation Office, Republic of Palau, 2018, 8
- 3) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu Island, Republic of Palau on September 2018, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2018, 10
- 4) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu Island, Republic of Palau on September 2018, Historic Preservation Office, Republic of Palau, 2018, 10
- 5) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human

- skeletal remains from Shinkoku-maru, The State of Chuuk, FSM, November 2018, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2018, 11
- 6) Hideki Saka, Forensic anthropological short report of the collection of human skeletal remains from Shinkoku-maru, The State of Chuuk, FSM, November 2018, Customs in the airport, Federation of Micronesia, 2018, 11
- 7) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu Island, Republic of Palau on December 2018, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2018, 12
- 8) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Angaur Island, Republic of Palau on December 2018, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2018, 12
- 9) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Peleliu Island, Republic of Palau on December 2018, Defense POW/MIA Accounting Agency, 2018, 12

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Ruri Asami, Hirofumi Aboshi, Atsushi Iwawaki, Tomonori Ozawa, Yusei Ohtaka, Maki Izawa and Hideki Saka, Age estimation based on the volume change in the maxillary first premolar crown using micro CT, ANZFSS 24th INTERNATIONAL SYMPOSIUM, Perth, Australia, 2018, 9

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 大高祐聖, 原田康雄, 井澤真希, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 坂 英樹, 奥村泰彦, 携帯型口内法 X線撮影における矩形絞りによる術者被ばくの低減, 第 59 回日本歯科放射線学会学術大会, 横須賀, 2018, 5
- 2) 大高祐聖, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 牛尾亮介, 石井 猛, 並木修司, 坂 英樹, 矩形しぼりを用いた個人識別業務従事者の被ばく低減に関する研究, 第 12 回日本法歯科医学会学術大会, 千葉, 2018, 10

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 浅見瑠璃, マイクロ X線 CT を用いた上顎小臼歯の歯冠部体積変化に着目した年齢推定法, 明海歯科医学会第 35 回学術大会, 坂戸, 2018, 6
- 2) 岩脇淳志, 携帯型 X線発生装置の安全使用に関する研究, 明海歯科医学会第 35 回学術大会, 坂戸, 2018, 6

- 3) 浅見瑠璃, 網干博文, 岩脇淳志, 牛尾亮介, 石井 猛, 大高祐聖, 坂 英樹, マイクロX線CTを用いた上顎小白歯の歯冠部体積変化に着目した年齢推定法, 第87回日本法医学会学術関東地方集会, 東京, 2018, 10

E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂 英樹, インプラント治療に必要な解剖学, 口腔インプラント生涯研修センター 第32回口腔インプラントセミナー, 名古屋, 2018, 7
- 2) 坂 英樹, 大規模災害における歯科的個人識別の実際と今後の課題, 明海大学同窓会岡山県支部会秋季学術研修会, 岡山, 2018, 10
- 3) 坂 英樹, 大規模災害における歯科的個人識別の実際と今後の課題, 山梨県歯科医師会警察歯科医委員会 山梨県警察本部 合同実習 講演会, 東京, 2018, 12
- 4) 坂 英樹, 歯科保健, 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科特別講義, 朝霞, 2018, 12
- 5) 坂 英樹, 小児期における顎顔面部の成長発育, 豊橋市歯科医師会学術講演会, 豊橋, 2019, 2

社会健康科学講座

口腔衛生学分野

スポーツ歯学分野

障がい者歯学分野

医療情報科学分野

基礎数学・統計学分野

口腔衛生学

A. 学術論文

1. 原著

- 1) 深井智子, 望月 司, 松田昌文, 皆川真哉, 中野文夫, 吉川 賢, 竹下 玲, 河合裕直, 八木裕太, 田中 入, 草間 薫, 安井利一, 川越市における糖尿病に関わる医科歯科連携の試みに関して第一報—糖尿病連携手帳の記載項目での関連調査から—, 明海歯科医学 48 巻, 2019, 2

B. その他の刊行物など

- 1) 北 邦宏, 小児の口腔機能の発達不全を早期に気づくために—4 学会合同「リレー講演 2018」から, 歯界展望 133 巻, 2019, 3

C. 学会発表

1. 全国学会

(1) 一般演題

- 1) 望月 司, 松田昌文, 皆川真哉, 深井智子, 廣瀬哲也, 吉川 賢, 中野文夫, 河合裕直, 八木裕太, 竹下 玲, 安井利一, 「川越市における糖尿病に関わる医科歯科連携の試みに関して第二報」～糖尿病患者の口腔内状況～, 第 61 回日本糖尿病学会, 2018, 5
- 2) 西條光雅, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 宮澤 慶, 北 邦宏, 佐伯真弓, 岡崎由佳, 野澤一郎太, 安井利一, 介護老人施設入居者の栄養摂取形態と日常生活自立度の関連性の検討 (第二報), 第 67 回日本口腔衛生学会, 2018, 6
- 3) 望月 司, 深井智子, 竹下 玲, 安井利一, 田中 入, 皆川真哉, 「川越市における糖尿病に関わる医科歯科連携の試み第二報」～アンケート調査後の追加研究について～, 第 67 回日本口腔衛生学会, 2018, 6

D. その他の研究会、講演など

- 1) 竹下 玲: What is CAMBRA™? ～カニズムから実践へ～, 新宿区 (明海大学・朝日大学サテライトキャンパス), CAMBRA™定期予防管理セミナー (主催; 明海大学歯学部生涯研修部・協賛; ㈱ヨシダ・㈱KDP/博報堂), 2018 年 4 月
- 2) 佐伯真弓, 「1 歳 6 か月児の口腔ケアのポイント①」, 比企郡ときがわ町保健センター, 2018, 5
- 3) 北 邦宏, 「これからの虫歯予防～健康な大人の歯へ向けて～」, 東大和市 (東大和市立保健センター), 2018, 5

- 4) 北 邦宏,「これからの虫歯予防～健康な大人の歯へ向けて～」, 東大和市 (東大和市立保健センター), 2018, 7
- 5) 佐伯真弓,「1歳6か月児の口腔ケアのポイント②」,比企郡ときがわ町保健センター, 2018, 7
- 6) 北 邦宏,「これからの虫歯予防～健康な大人の歯へ向けて～」, 東大和市 (東大和市立保健センター), 2018, 8
- 7) 竹下 玲: What is CAMBRA™? ～カニズムから実践へ～, 新宿区 (明海大学・朝日大学サテライトキャンパス), CAMBRA™定期予防管理セミナー (主催; 明海大学歯学部生涯研修部・協賛; ㈱ヨシダ・㈱KDP/博報堂), 2018, 8
- 8) 竹下 玲: う蝕予防と CAMBRA™の基本, 千葉市, 千葉スタディグループ (CSG) 主催研修会, 2018, 9
- 9) 竹下 玲: What is CAMBRA™? ～カニズムから実践へ～, 新宿区 (明海大学・朝日大学サテライトキャンパス), CAMBRA™定期予防管理セミナー (主催; 明海大学歯学部生涯研修部・協賛; ㈱ヨシダ・㈱KDP/博報堂), 2018, 9
- 1 0) 佐伯真弓,「1歳6か月児の口腔ケアのポイント③」,比企郡ときがわ町保健センター, 2018, 9
- 1 1) 深井智子, 生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり, 深谷市立川本南小学校, 2018, 10
- 1 2) 宮澤 慶,「虫歯予防、むし歯なし大人の歯へ」東大和市 (東大和市立保健センター), 2018, 10
- 1 3) 佐伯真弓,「1歳6か月児の口腔ケアのポイント④」,比企郡ときがわ町保健センター, 2018, 11
- 1 4) 竹下 玲: What is CAMBRA™?, 札幌市 (株式会社ヨシダ 北海道支店), YK-CAMBRA(TM)セミナー (主催; ㈱ヨシダ・㈱KDP/博報堂), 2018年11月
- 1 5) 竹下 玲: CAMBRA; リスクから見たう蝕予防方法について; CAMBRA の紹介, 川越市, やまぶき会, 2018, 11
- 1 6) 竹下 玲: CAMBRA; う蝕リスク評価とその応用, 大宮市, 明海大学歯学部同窓会埼玉県支部総会 学術大会, 2018, 12
- 1 7) 北 邦宏,「これからの虫歯予防～健康な大人の歯へ向けて～」, 東大和市 (東大和市立保健センター), 2018, 12
- 1 8) 佐伯真弓,「乳歯のむし歯になりやすい条件、おしゃぶり、哺乳瓶の歯並びへの影響他」,比企郡ときがわ町保健センター, 2019, 3
- 1 9) 竹下 玲: What is CAMBRA™?, 台東区 (株式会社ヨシダ 本社), YK-CAMBRA(TM)セミナー (主催; ㈱ヨシダ・㈱KDP/博報堂), 2019, 3
- 2 0) 竹下 玲: CAMBRA™によるリスク評価とその応用, 高知市, 高知県 平成 31 年三大学 (大阪歯科大学・朝日大学・明海大学) 学術講演会, 2019, 3

2 1) 北 邦宏, 「これからの虫歯予防～健康な大人の歯へ向けて～」, 東大和市 (東大和市立保健センター), 2019, 3

スポーツ歯学

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 北 邦宏, 杉山義祥, 安井利一,
歯科大学校と歯科衛生士学校の学生におけるスポーツ歯学に関する興味・理解
の比較, 第 29 回日本スポーツ歯科医学会, 2018, 6
- 2) 北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 宮澤 慶, 安井利一, マウスガード
の厚さを確保するためのシート圧接法についての検討ー第 3 報シートの種類,
第 29 回日本スポーツ歯科医学会, 2018, 6
- 3) 西條光雅, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 宮澤 慶, 北 邦宏, 佐伯真弓,
岡崎由佳, 野澤一郎太, 安井利一, 介護老人施設入居者の栄養摂取形態と日常
生活自立度の関連性の検討 (第二報), 第 67 回日本口腔衛生学会, 2018, 6

障がい者歯科学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) “内田 茂則, 早川 華穂, 久保 英範, 小林 克江, 牧野 兼三, 高木 沙央理, 大野 由夏, 長谷川 彰彦, 小長谷 光”, 静脈内鎮静法下にアナフィラキシーを呈した 1 例, 日本歯科麻酔学会雑誌 46(2)92-94, 2018, 4
- 2) “吉川 博昭, 西部 伸一, 酒井 大輔, 今西 宏和, 大野 聖加, 小林 克江, 北村 晶”, 予定脳神経外科手術における術後早期高乳酸血症の発症要因 (Early postoperative hyperlactatemia in elective neurosurgical patients: A retrospective study), 埼玉医科大学雑誌 45(1)1-11, 2018. 08
- 3) “松村 真由美, 高島 恵子, 田島 徹, 内田 茂則, 小林 克江, 高木 沙央理, 大野 由夏, 牧野 兼三, 小長谷 光”, メトクロプラミド投与後に痙攣発作を生じた Sturge-Weber 症候群の 1 例, 日本歯科麻酔学会雑誌 46(1)40-42, 2018. 01

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 星島 宏, 西澤 秀哉, 伊藤 直樹, 高橋 正人, 相崎 邦雄, 長坂 浩, 菊地 公治, 大野 聖加, 小林 克江, 牧野 兼三, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光, GlideScope は気管挿管時の心拍数、血圧の上昇を抑制しない Macintosh 型喉頭鏡との比較 a systematic review, 第 46 回 日本歯科麻酔学会 総会・学術大会 (奈良) 2018. 10
- 2) 内田 茂則, 高島 恵子, 松本 勝洋, 久保 英範, 上杉 典子, 小林 克江, 牧野 兼三, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光, 著しく非協力的な心疾患を有する Down 症候群患者の全身麻酔, 第 35 回 日本障害者歯科学会 (東京) 2018. 10
- 3) 原田 達也, 松本 勝洋, 高橋 翔平, 稲田 穰, 小林 克江, 牧野 兼三, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光, 開業歯科医院における自動麻酔記録装置搭載鎮静タワーの臨床的有用性, 第 35 回 日本障害者歯科学会 (東京) 2018. 10
- 4) 斎藤 智彦, 岩瀬 良範, 鈴木 史人, 高橋 敏克, 内田 茂則, 小林 克江, 牧野 兼三, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光, paper Chart ワークショップ 第 46 回 日本歯科麻酔学会総会・学術大会 (奈良) 2018. 10

医療情報科学

B. 学術論文

2. 総説

- 1) 古谷貴彦, 山内雅司, Maximal rigid objects in an orbit category arising from a tube, 数理解析研究所講究録, 2061, pp1-7, 2018, 4

D. 学会発表

(3) 一般演題

- 1) 星野 都、井上勝元、井上ハルミ、菊池建太郎、山内雅司、坂下英明、佐藤由紀子、竹内健吾、長尾俊孝、草間 薫, Clear cell-rich salivary gland carcinoma of the buccal mucosa, 第 107 回日本病理学会総会 (札幌), 2018, 6
- 2) 古谷貴彦, 山内雅司, Non-semiregular Auslander-Reiten components of an artin algebra, RIMS 研究集会「有限群のコホモロジー論とその周辺」, 京都大学数理解析研究所, 京都, 2019, 2

基礎数学・統計学

B. 学術論文

1. 原著

2. 総説

- 1) 古谷貴彦, 山内雅司, Maximal rigid objects in an orbit category arising from a tube, 数理解析研究所講究録, 2061, pp1-7, 2018, 4

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 国内学会一般発表, 古谷貴彦, 山内雅司, Non-semiregular Auslander-Reiten components of an artin algebra, RIMS 研究集会「有限群のコホモロジー論とその周辺」, 京都大学数理解析研究所, 京都, 2019, 2

総合臨床医学講座

内 科 学 分 野

眼 科 学 分 野

内科学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Kadokura H, Yamazaki T, Masuda Y, Kato Y, Hasegawa A, Sakagami H and Yokose S : Establishment of a primary culture system of human periodontal ligament cells that differentiate into cementum protein 1-expressing cementoblast-like cells. *in vivo*,33, 349-352,2019.
- 2) 増田宜子, 坂上宏, 門倉弘志, 山崎崇秀, 長谷川彰彦, 横瀬敏志 : クマザサ葉アルカリ抽出液 (ササヘルス) とダイオードレーザーを用いた光線力学療法による抗菌効果に関する基礎的研. 日本歯内療法学会雑誌, 40, 20-25, 2019.

3. 症例報告

- 1) 内田茂則, 早川華穂, 久保英範, 小林克江, 牧野兼三, 高木沙央理, 大野由夏, 長谷川彰彦, 小長谷光 : 静脈内鎮静法下にアナフィラキシーを呈した1例. 日本歯科麻酔学会雑誌, 46, 92-94, 2018.

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Tajima M and Hasegawa A: Increase of phosphate enhances the cytotoxicity of osteoblasts by bisphosphonates. 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology, Kyoto, July, 2018.
- 2) Takashima K, Oono Y, Matsumoto K, Hayakawa K, Matsumura M, Uesugi N, Uchida S, Takagi S, Kobayashi K, Makino K, Hasegawa A, Nagasaka H, Wang K, Arendt-Nielsen L and Kohase H: Pain catastrophizing scale (PCS)-magnification correlates the period of acute post-operative pain in orthognathic surgery. 15th International Dental Congress on Anesthesia, Sedation and Pain Control, Nara, Oct.,2018.
- 3) Matsumoto K, Takashima K, Hayakawa K, Matsumura M, Uesugi N, Oyake H, Kobayashi K, Uchida S, Makino K, Takagi S, Oono Y, Hasegawa A, Nagasaka H and Kohase H: Intravenous sedation management for a patient with severe heart failure before Fontan procedure. 15th International Dental Congress on Anesthesia, Sedation and Pain Control, Nara, Oct.,2018.

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 三木朱里, 川田朗史, 井上瑛弘, 松村正晃, 昔農直美, 田所瑞希, 下山大慈, 香村亜希子, 岡田知之, 渡辺裕美, 岡田典久, 長谷川彰彦, 荒木久生, 村上幸生: 明海大学歯学部附属病院口腔診断科における直近 2 年間の初診患者動向調査. 第 31 回日本口腔診断学会学術大会, 横浜, 2018 年 9 月.
- 2) 田島雅道, 足立圭亮, 長谷川彰彦, 坂上宏, 柏俣正典: マウス胎仔顎下腺の分枝形態形成におけるオートファジーの役割. 第 60 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2018 年 9 月.
- 3) 高島恵子, 大野由夏, 松本勝洋, 松村真由美, 上杉典子, 早川華穂, 内田茂則, 高木沙央理, 長谷川彰彦, 長坂浩, 小長谷光: 顎変形症手術において術前の conditioned pain modulation (CPM) 測定は術後痛発症を予測する. 第 46 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良, 2018 年 10 月.
- 4) 早川華穂, 高木沙央理, 高島恵子, 松村真由美, 松本勝洋, 上杉典子, 内田茂則, 大野由夏, 山田守正, 長谷川彰彦, 小長谷光: 前向き健忘効果を得るために必要な麻酔量を精神性発汗量の測定で予測できるか? 第 46 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良, 2018 年 10 月.
- 5) 松村真由美, 早川華穂, 高島恵子, 上杉典子, 松本勝洋, 内田茂則, 田島徹, 高木沙央理, 大野由夏, 長谷川彰彦, 小長谷光: 超高齢者 100 歳に対する全身麻酔経験. 第 46 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 奈良, 2018 年 10 月.
- 6) 森一将, 高木沙央理, 大野由夏, 藤原敬子, 松本安吏, 青木竜平, 小長谷光, 長谷川彰彦, 嶋田淳: 舌腫瘍手術の周術期に急性心筋梗塞を発症した 1 例. 第 28 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 千葉, 2019 年 3 月.

眼科学

D. 学会発表

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 藤本太一、樺澤昌、篠田啓ら 「硝子体混濁を呈した眼内悪性リンパ腫の網膜電図」
埼玉医大、明海大学歯学部附属明海大学病院 第56回埼玉県医学会総会
2019.2.24 埼玉県民健康センター

明海大学歯科医学総合研究所

Meikai University Research Institute of Odontology

(M-RIO)

明海大学歯科医学総合研究所
Meikai University Research Institute of Odontology
(M-RIO)

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Gul HI, Yamali C, Sakagami H, Angeli A, Leitans J, Kazaks A, Tars K, Ozgun DO and Supuran CT: New anticancer drug candidates sulfonamides as selective hCA IX or hCA XII inhibitors. *Bioorg Chem* 77: 411-419, 2018,4
- 2) Uehara M, Minemura H, Ohno T, Hashimoto M, Wakabayashi H, Okudaira N and Sakagami H: *In vitro* antitumor activity of alkylaminoguaiazulenes. *In Vivo* 32(3):541-547, 2018,5
- 3) Wada T, Maruyama R, Irie Y, Hashimoto M, Wakabayashi H, Okudaira N, Uesawa Y, Kagaya H and Sakagami H: *In Vitro* Antitumor Activity of Azulene Amide Derivatives, *In Vivo* 32(3): 479-486, 2018,5
- 4) Gul HI, Tugrak M, Gul M, Sakagami H, Umemura N and Anil B: Synthesis and cytotoxicities of new azafluorenones with apoptotic mechanism of action and cell cycle analysis., *Anticancer Agents Med Chem.* 18(12):1770-1778, 2018. doi: 10.2174/1871520618666180525085445. PMID: 29793413,2018,5
- 5) 小島百代, 佐野愛子, 鈴木龍一郎, 白瀧義明, 坂上宏: 味噌の神経保護作用, *New Food Industry* 60(5): 79-83, 2018,5
- 6) Uesawa Y, Sakagami H, Shi H, Hirose M, Takao K and Sugita Y: Quantitative Structure-cytotoxicity relationship of Furo[2,3-*b*]chromones. *Anticancer Res* 38(6): 3283-3290, 2018,6
- 7) Hara Y, Sakagami H, Shi H, Abe T, Tamura N, Takeshima H, Horie N, Kaneko T, Shiratsuchi H and Kaneko T: Partial protection of paclitaxel-induced neurotoxicity by antioxidants. *In Vivo* 32(4): 745-752, 2018,7
- 8) Masuda Y, Sakagami H, Horiike M, Kadokura H, Yamasaki T, Klokkevold PR, Takei HH and Yokose S: Photodynamic therapy with pyoktanin blue and diode. *In Vivo* 32(4): 707-712, 2018,7
- 9) Shi H, Nagai J, Sakatsume T, Bandow K, Okudaira N, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Uesawa Y, Takao K and Sugita Y: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 2-(*N*-cyclicamino)chromone derivatives. *Anticancer Res* 38(7): 3897-3906, 2018,7
- 10) Sakagami H, Hara Y, Shi H, Iwama S, Nakagawa M, Suzuki H, Tanaka K, Abe T,

- Tamura N, Takeshima H, Horie N, Kaneko T, Shiratsuchi H and Kaneko T: Change in anticancer drug sensitivity during neuronal differentiation of PC12 cells. *In Vivo* 32(4): 765-770, 2018,7
- 1 1) Sakagami H, Shi H, Bandow K, Tomomura M, Tomomura A, Horiuchi M, Fujisawa T and Oizumi T: Search of neuroprotective polyphenols using the “overlay” isolation method. *Molecules* 2018, 23(8), 1840; doi:10.3390/molecules23081840, 2018,7
 - 1 2) Shi H, Nagai J, Sakatsume T, Bandow K, Okudaira N, Uesawa Y, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Takao K and Sugita Y: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 3-(*N*-cyclicamino)chromone derivatives. *Anticancer Res* 38(8): 4459-4467, 2018,8
 - 1 3) Nagai J, Shi H, Kubota Y, Bandow K, Okudaira N, Uesawa Y, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Takao K and Sugita Y: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of pyrano[4,3-*b*]chromones. *Anticancer Res* 38(8): 4449-4457, 2018,8
 - 1 4) Tugrak M, Gul HI, Sakagami H, Gulcin I, Claudiu T and Supuran CT: New azafluorenones with cytotoxic and carbonic anhydrase inhibitory properties: 2-Aryl-4-(4-hydroxyphenyl)-5*H*-indeno[1,2-*b*]pyridin-5-ones. *Bioorganic Chemistry* 81: 433-439, 2018,9
 - 1 5) 川口祥子, 坂東健二郎, 田村暢章, 友村美根子, 嶋田淳, 友村明人: L P S 誘導性破骨細胞分化に対するカルデクリンの効果 *明海歯科医学* 47(2):126-138, 2018.9
 - 1 6) Sano A, Shi H, Suzuki R, Shirataki Y and Sakagami H. Change in amino acid pools during neuronal differentiation of PC 12 cells. *In Vivo* 32 (6): 1403-1408, 2018,10
 - 1 7) Sakagami H, Sugimoto M, Kanda Y, Murakami Y, Amano O, Saitoh J and Kochi A: Changes in metabolic profiles of human oral cells by benzylidene ascorbates and eugenol. *Medicines* 2018, 5, 116; doi:10.3390/medicines5040116,2018,10
 - 1 8) Gul HI, Yamali C, Gunesacar G, Sakagami H, Okudaira N, Uesawa Y and Kagaya H: Cytotoxicity, apoptosis, and QSAR studies of phenothiazine derived methoxylated chalcones as anticancer drug candidates. *Medicinal Chemistry Research* 27 (10): 2366-2378, 2018,10
 - 1 9) Ozmen Ozgun D, Gul HI, Yamali C, Sakagami H, Gulcin I, Sukuroglu M, Supuran CT: Synthesis and bioactivities of pyrazoline benzensulfonamides as carbonic anhydrase and acetylcholinesterase inhibitors with low cytotoxicity, *Bioorg Chem* 84:511-517, 2018,12
 - 2 0) Suzuki R, Fukami S, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y: Screening for natural medicines effective for the treatment of osteoporosis. *J Nat Med* 73(1): 331-337. 2019.1
 - 2 1) 増田宜子, 坂上宏, 門倉弘志, 山崎崇秀, 長谷川彰彦, 横瀬敏志: クマザサ葉 アルカリ抽出液 (ササヘルス®) とダイオードレーザーを用いた光線力学療法によ

る抗菌効果に関する基礎的研究,"日歯内療誌 40(1): 20-25, 2019,2

- 2 2) Kadokura H, Yamazaki T, Masuda Y, Kato Y, Hasegawa A, Sakagami H, Yokose S: Establishment of a primary culture system of human periodontal ligament cells that differentiate into cementum protein 1-expressing cementoblast-like cells. *In Vivo* 33(2): 349-352, 2019,3

2. 総説

- 1) Watanabe S, Toyama T, Sato T, Suzuki M, Morozumi A, Sakagami H and Hamada N: Kampo therapies and the use of herbal medicines in the dentistry in Japan (Review). *Medicines (Basel)* 6(1):34, pii: E34. doi: 10.3390/medicines6010034. PMID: 30823475, 2019,2
- 2) Sakagami H, Watanabe T, Hoshino T, Suda N, Mori K, Yasui T, Yamauchi N, Kashiwagi H, Gomi T, Oizumi T, Nagai J, Uesawa Y, Takao K, Sugita Y: Recent progress of basic studies of natural products and their dental application (Review). *Medicines (Basel)* 6(1):4. pii: E4. doi: 10.3390/medicines6010004. PMID: 30585249, 2018,12
- 3) Hara Y, Shiratuchi H, Kaneko T, Sakagami H: Search for drugs used in hospitals to treat stomatitis (Review). *Medicines (Basel)* 6(1):19. pii: E19. doi: 10.3390/medicines6010019. PMID: 30699927, 2019,1

C. その他の刊行物など

- 1) 坂上 宏, 友村美根子, 増田宜子, 岩間聡一, 中川美香, 鈴木隼人, 田中健大, 阿部智之, 田村暢章, 竹島浩, 安井利一, 辻まゆみ, 木内祐二, 小口勝司, 堀内美咲, 藤澤知弘, 勝呂まどか, 大泉浩史, 大泉高明: ササヘルスによるホルメシスおよび細胞保護効果の誘導. *New Food Industry* 60 (4): 39-48, 2018,4,
- 2) 友村美根子: グラニルゲラニオールと骨代謝 別冊 *BIO Clinica* 慢性炎症と疾患 7 (2) (整形外科疾患と慢性炎症) 北隆館, 2018,5
- 3) 坂上宏, 戴秋娟, 肖黎, ZHENG Yan, 大石隆介, 神崎龍志, 土田幸広, 中井延美, ガルシア-コントレラス レネ: 国際的コミュニケーション能力の重要性(6)— ストレス社会における健康管理法. *New Food Industry* 60 (6): 57-69,2018,6
- 4) ガルシア-コントレラス レネ, アルバラード-ヌニェス アレハンドラ, 坂上 宏: 世界の学食(2)- メキシコ国立自治大学レオン (UNAM) . *New Food Industry* 60(8): 73-79, 2018,8
- 5) 史海霞, YAN Zenkun, WEI Bosen, 坂上 宏: 世界の学食(3) —上海交通大学, *New Food Industry*60(9): 43-49, 2018,9
- 6) 齋田圭子, 齋田悟, 八幡由花紫, 三間修, 青木晃, Zhagentkhan Abylaiuly Bolshakova SB, Bogenbayeva GA, Dalenov ED, 福地邦彦, 坂上 宏: イヌトウキ

の神経保護作用と臨床効果. *New Food Industry* 60(7): 39-48, 2018.7.

- 7) 坂上 宏, 白瀧義明, 史 海霞: 漢方の効能 (1) 自然の恩恵 *New Food Industry* 60(10): 69-73, 2018,10
- 8) 坂上 宏, 史海霞, 永井純子, 植沢芳広, 高尾浩一, 杉田義昭: クロモン誘導体の新規抗癌剤としての可能性. *New Food Industry* 61(1): 11-18, 2019,1
- 9) 坂上宏, 史海霞, 堀内美咲, 藤澤智弘, 勝呂まどか, 大泉浩史, 大泉高明: 解説: クマ笹歯アルカリ抽出液およびポリフェノール類の神経保護作用とホルメシス効果の再評価 — 簡易調製法 (オーバーレイ法) により調製された PC12 神経分化細胞モデルを用いた解析, *New Food Industry* 61 (2): 99-106, 2019,2

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 坂上 宏: 天然物資源の口腔疾患治療への応用, 第 30 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 川越, 埼玉, 2018,11

(3) 一般演題

- 1) Tomomura M, Tomomura A, Kamiguchi H: Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, protects against amyloid- β toxicity through proteolytic cleavage. 第 41 回日本神経科学, 神戸, 2018,7
- 2) 齋藤昇平, 今成伽奈, 若林英嗣, 奥平准之, 坂上宏: アズレンアミド誘導体の合成とその薬理活性. 第 8 回 CSJ 化学フェスタ 2018, タワーホール船堀, 東京, 2018,10
- 3) 坂上宏, Shi H, 坂東健二郎, 友村美根子, 友村明人: ヒト口腔扁平上皮癌に対する高い選択性と, 低いケラチノサイト毒性を有する新規クロモン誘導体の創製. 第 60 回歯科基礎医学会学術大会, 九州大学病院キャンパス, 2018,9
- 4) 今村舞衣, 永井純子, 坂上宏, 植沢芳広: 口腔癌選択毒性を示す化合物の探索を目的とした QSAR 予測モデルの構築. 第 139 回薬学会年会, 幕張, 千葉, 2019,3

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 植沢芳広, 史海霞, 永井純子, 坂詰つかさ, 坂東健二郎, 坂上宏, 友村美根子, 友村明人, 高尾 浩一, 杉田義昭: 2-(N-cyclicamino)chromone 誘導体の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析. 第 139 回日本薬理学会関東部会, 東京慈恵会医科大学, 東京, 2018,10
- 2) 坂上宏, 史 海霞, 永井純子, 坂詰つかさ, 坂東健二郎, 奥平 准之, 植沢芳広,

友村美根子，友村明人，高尾浩一，杉田義昭：3-(*N*-サイクリックアミノ)クロモン誘導体の定量的構造-細胞傷害性相関解析．第139回日本薬理学会関東部会，東京慈恵会医科大学，東京，2018,10

- 3) 永井純子，史海霞，久保田夕香，坂東健二郎，奥平准之，植沢芳広，坂上宏，友村美根子，友村明人，高尾浩一，杉田義昭：ピラノ[4,3-*b*]クロモン誘導体の定量的構造-細胞傷害性相関解析．第139回日本薬理学会関東部会，東京慈恵会医科大学，東京，2018,10
- 4) 堀内美咲，史海霞，坂上宏，坂東健二郎，友村美根子，友村明人，藤澤知弘，勝呂まどか，大泉浩史，大泉高明：分化した神経細胞の簡易調製法（オーバーレイ法）の開発：ポリフェノール類の神経保護作用とホルメシス効果．第139回日本薬理学会関東部会，東京慈恵会医科大学，東京，2018,10

E. その他の研究会，講演など

- 1) 坂上 宏：イヌトウキの新しい作用を求めて．東中野 JES にて講演会，2018,4

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 坂上宏（代表）：基盤研究(C) (16K11519)：新規 3-スチリルクロモン誘導体の口腔癌治療薬としての可能性に関する基礎研究．2016,4~2019,3
- 2) 田村暢章（代表），坂上宏（分担）：基盤研究(C) (17K1205)水中運動による身体機能の改善と唾液老化マーカーへの影響．2017,4~2020,3
- 3) 友村美根子（代表）：基盤研究(C) (16K11487)：骨吸収と骨形成を相反的に制御するグラニルゲラニオールの作用解明と骨粗鬆症への応用．2016,4~2019,3
- 4) 増田宜子（代表）：基盤研究(C) (17K11713)：レーザー照射による歯髄-血管・神経相互作用へ及ぼす影響の解明．2017,4~2020,3

4. 受託研究費等

- 1) 坂上宏：株式会社大和生物研究所，口内炎に対するクマ笹抽出物の作用機序に関する研究
- 2) 坂上宏：日本三晶製薬株式会社，松の実抽出物の各種抗ウイルス等に及ぼす影響の検討
- 3) 坂上宏：株式会社アピカ・コーポレーション，イヌトウキの薬理作用：イヌトウキの抗 HSV 作用